

第1章 総 則

第1条 本学は教育基本法並びに学校教育法により、建学の精神に基づいて女子に対し、家政学、文学、看護学、リハビリテーション学及び子ども学に関する専門の学術技芸を教授研究し、その応用的能力を伸展するとともに人格の完成に努め、真に平和を愛し、民主的文化国家及び社会の形成者を育成することを目的とする。

第1条の2 本学はその教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた機関による評価を受けるものとする。

3 第1項の自己点検・評価に関する規程は別に定める。

第1条の3 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント：FDという。）を行い、その結果を公表するものとする。

第2条 本学は東京家政大学と称し、家政学部、人文学部、健康科学部及び子ども学部をおく。

2 家政学部、人文学部、健康科学部及び子ども学部の人材養成及び教育研究上の目的は、次のとおりとする。

- 1) 家政学部は、各専門分野の学術的知識と伝統ある充実した実践技術を教授し、人と人の繋がりを大切にすることを育み、豊かな生活を築くとともに社会で活躍する人材を育成する。
- 2) 人文学部は、専門的な学術の理論と実践的な知識や技術を教授し、国際的な視野に立ち、人間理解を深め、多種多様な考え方を受容できる能力を養い、社会で活躍する人材を育成する。
- 3) 健康科学部は、看護及び医療の分野で、科学的根拠に裏づけされた知識・技術と生命の尊厳と人格を尊重する態度を涵養し、あらゆる年代の人々の健康の保持増進と自分らしく「生活する」ことを支援できる人材を育成する。
- 4) 子ども学部は、健やかな生命と豊かな人格を目指す幼児教育・保育、多様なニーズに応じた幼児教育・保育、園・家庭・地域社会との一体的幼児教育・保育、子どもと未来を育む幼児教育・保育、研究と研鑽を基盤とした幼児教育・保育ができる人材を育成する。

第2条の2 本学に大学院をおく。

2 大学院に関する規程は別に定める。

第3条 家政学部及び人文学部は東京都板橋区加賀1丁目18番1号に、健康科学部及び子ども学部は埼玉県狭山市稲荷山2丁目15番地の1にこれを設置する。

第4条 家政学部に児童学科、児童教育学科、栄養学科、服飾美術学科、環境教育学科及び造形表現学科をおき、児童学科に児童学専攻及び育児支援専攻を、栄養学科に栄養学専攻及び管理栄養士専攻をおく。

2 人文学部に英語コミュニケーション学科、心理カウンセリング学科及び教育福祉学科をおく。

3 健康科学部に看護学科及びリハビリテーション学科をおき、リハビリテーション学科に作業療法学専攻及び理学療法学専攻をおく。

4 子ども学部に子ども支援学科をおく。

5 本学各学科の人材養成及び教育研究上の目的は、次のとおりとする。

- 1) 児童学科は、子ども一人ひとりを尊重し、その健全な心身の形成ができる人材養成を目的とする。そのための学術的・実践的探究を通じ、幼稚園教諭、保育士などの免許・資格の取得を軸に、高度な専門性と豊かな心を持ち教育と保育に貢献する人材を育成する。
- 2) 児童教育学科は、知的探究心が旺盛で、豊かな心を持ち、健康な身体をもった児童の育成のできる教員を養成することを目的とする。そのために、理論とともに優れた実践力を兼ね備えた小学校教諭を主に、幼稚園の教諭を育成する。
- 3) 栄養学科は、人々の食と健康の向上に尽力する人材を養成する。そのために食品学、栄養学、社会医学・臨床医学等の分野で知識、技能を教育し、研究を指導・遂行する。また、栄養士・管理栄養士、中学校・高等学校教諭・栄養教諭等の資格・免許を取得して社会で活躍する人材を育成する。
- 4) 服飾美術学科は、デザイン、服飾造形、服飾工芸、アパレル設計、服飾文化、ビジネス、素材・加工・整理を総合したカリキュラムのもとに、服飾を科学とファッションの両面からとらえ、アパレル・教育界に貢献できる人材を育成する。
- 5) 環境教育学科は、暮らしを中心として衣食住の諸問題を科学的な視点から提起し、それらの問題を環境・自然から学ぶことで解決できる人材養成を目的とする。そのために食品衛生監視員、毒物劇物取扱責任者、東京都公害防止管理者、環境プランナーなどの環境活動リーダーとしての実践的能力、及び中学校・高等学校教諭免許状を

取得して社会で活躍する人材を育成する。

- 6) 造形表現学科は、社会環境の変化や家政学部の美術に相応しい教育内容に定めるため、デザイン、アート、工芸、建築、インテリアを基礎から総合的に学ぶことにより、生活空間を美しく快適に創造し、たくましい心と感性を持つ人材を育成する。
- 7) 英語コミュニケーション学科は、国際化時代に対応できる英語によるコミュニケーション能力を養成し、英米文学・英語学・英語教育に関する学識を深め、視野の広い総合力を持った人材を育成する。
- 8) 心理カウンセリング学科は、医療・教育・産業等の社会のあらゆる領域において、心理学の知識と対人関係スキルを備えた実践力のある人材を育成する。
- 9) 教育福祉学科は、複雑化した社会における生涯にわたる人間関係の諸問題に対応する総合的な力を育成し、ライフコースを支援できる専門知識や技術を持つ人材を育成する。
- 10) 看護学科は、専門知識と、保健・福祉・看護の基盤となる援助的人間関係を成立・発展させる技術を教授し、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象とし健康の保持増進と生活の質を維持する看護実践ができる看護師・保健師・助産師を育成する。
- 11) リハビリテーション学科は、基礎知識と専門知識技術を基に乳幼児から高齢者までを対象に、作業療法学専攻では、人の“こころ”、“からだ”、“生活”に焦点を当て、その人らしい生活が獲得できるように支援できる人材を育成する。理学療法学専攻では、疾病や傷害に起因する機能や形態障害に対して基本的身体能力や移動能力の改善を支援できる人材を育成する。
- 12) 子ども支援学科は、基礎教養・子ども学理論・子ども学実践・特別支援教育・健康保育・総合研究と多方面にわたる学修に基づき一人ひとりの子どものより望ましい育ちを支援できる幼児教育・保育の人材を育成する。

第5条 本学の修業年限を4年とする。

第6条 本学の定員は、次のとおりとする。

家政学部

児童学科	児童学専攻	入学定員	105名	3年次編入学定員	5名	収容定員	430名
	育児支援専攻	入学定員	105名	3年次編入学定員	5名	収容定員	430名
児童教育学科		入学定員	85名	3年次編入学定員	5名	収容定員	350名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	120名	3年次編入学定員	5名	収容定員	490名
	管理栄養士専攻	入学定員	160名	3年次編入学定員	10名	収容定員	660名
服飾美術学科		入学定員	175名	3年次編入学定員	5名	収容定員	710名
環境教育学科		入学定員	75名	3年次編入学定員	5名	収容定員	310名
造形表現学科		入学定員	120名	3年次編入学定員	1名	収容定員	482名
計		入学定員	945名	3年次編入学定員	41名	収容定員	3,862名

人文学部

英語コミュニケーション学科		入学定員	120名	3年次編入学定員	5名	収容定員	490名
心理カウンセリング学科		入学定員	80名	3年次編入学定員	5名	収容定員	330名
教育福祉学科		入学定員	70名	3年次編入学定員	5名	収容定員	290名
計		入学定員	270名	3年次編入学定員	15名	収容定員	1,110名

健康科学部

看護学科		入学定員	100名	3年次編入学定員	—	収容定員	400名
リハビリテーション学科	作業療法学専攻	入学定員	40名	3年次編入学定員	—	収容定員	160名
	理学療法学専攻	入学定員	40名	3年次編入学定員	—	収容定員	160名
計		入学定員	180名	3年次編入学定員	—	収容定員	720名

子ども学部

子ども支援学科		入学定員	120名	3年次編入学定員	—	収容定員	480名
計		入学定員	120名	3年次編入学定員	—	収容定員	480名

第2章 学 年 暦

第7条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を次の2期に分ける。

前期 4月1日より9月23日まで

後期 9月24日より翌年3月31日まで

3 1学年間の授業日数は、試験等の日数を含め、35週を原則とする。

第8条 休業日は、次のとおりとする。

- 1) 日曜日
 - 2) 国民の祝日に関する法律に定める休日
 - 3) 本学創立記念日（5月6日）
 - 4) 春期休業 4月1日より同月5日まで
 - 5) 夏期休業 7月24日より9月23日まで
 - 6) 冬期休業 12月24日より翌年1月10日まで
 - 7) 学年末休業 3月19日より同月31日まで
- 2 前項の規定にかかわらず、休業日であっても必要に応じ授業及び実習を行うことがある。
- 3 第1項の規定にかかわらず必要がある場合は、休業日を変更、又は臨時に定めることがある。

第3章 教育課程及び履修方法

第9条 家政学部及び人文学部は、人材養成及び教育研究上の目的を達成するために、授業科目を全学共通教育科目、専門教育科目、教職に関する科目、司書に関する科目及び学芸員に関する科目に分け、体系的に教育課程を編成する。

- 2 健康科学部及び子ども学部は、人材養成及び教育研究上の目的を達成するために、授業科目を基礎教養科目及び専門教育科目に分け、体系的に教育課程を編成する。
- 3 各学部の教育課程編成・実施の方針は、別に定める。

第10条 家政学部及び人文学部の全学共通教育科目及び専門教育科目は必修科目と選択科目とに分け、教職に関する科目、司書に関する科目及び学芸員に関する科目は選択科目とする。

- 2 健康科学部及び子ども学部の基礎教養科目及び専門教育科目は必修科目と選択科目とに分ける。

第11条 授業科目を履修し、所定の試験に合格した者には単位を与えるものとする。1単位は45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、各授業科目の単位数は、次の基準によるものとする。

- 1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。
ただし、外国語、社会福祉士資格関連及び健康科学部の専門教育科目の演習科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
- 2) 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。
ただし、保育士関係及び栄養士関係の資格に係る授業科目並びに健康科学部の専門教育科目の実験及び実習については、45時間の授業をもって1単位とする。
- 3) 第1号及び前号の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業制作の授業科目については、学修の成果を評価して学科、専攻の定める単位とする。

第12条 授業科目及び単位数は、別表に定める教育課程表のとおりとする。

第13条 家政学部（栄養学科管理栄養士専攻は除く。）及び人文学部の学生は、在籍する学部、学科及び専攻（以下「学部等」という。）の全学共通教育科目及び専門教育科目の中から124単位以上を修得しなければならない。健康科学部（リハビリテーション学科は除く。）及び子ども学部の学生は、在籍する学部、学科の基礎教養科目及び専門教育科目の中から124単位以上を修得しなければならない。

- 2 前項に規定する修得単位数は、次のとおりとする。

- 1) 家政学部児童学科、児童教育学科及び栄養学科栄養学専攻においては、全学共通教育科目36単位以上、専門教育科目88単位以上とする。
 - 2) 家政学部服飾美術学科、環境教育学科及び造形表現学科並びに人文学部においては、全学共通教育科目36単位以上及び専門教育科目80単位以上、合計して124単位以上とする。
 - 3) 健康科学部看護学科においては、基礎教養科目24単位以上及び専門教育科目100単位以上、合計して124単位以上とする。
 - 4) 子ども学部子ども支援学科においては、基礎教養科目24単位以上及び専門教育科目90単位以上、合計して124単位以上とする。
- 3 家政学部及び人文学部では、在籍する学部等以外の他学部、他学科及び他専攻（以下「他学部等」という。）で履修し修得した全学共通教育科目及び専門教育科目の単位並びに本学と協定を締結している大学で履修し修得した単位は、それぞれ20単位を限度として在籍する学部等の全学共通教育科目の単位に含めることができる。
- 4 人文学部英語コミュニケーション学科の全学共通教育科目の修得単位には、同学科の専門教育科目のうち全学共通教育科目として認められる科目の単位を含むものとする。

第13条の2 家政学部栄養学科管理栄養士専攻の学生は、在籍する専攻の全学共通教育科目及び専門教育科目の中から126単位以上を修得しなければならない。

- 2 前項に規定する修得単位数は、全学共通教育科目36単位以上、専門教育科目90単位以上とする。

3 在籍する専攻以外の他学部等で履修し修得した全学共通教育科目及び専門教育科目の単位並びに本学と協定を締結している大学で履修し修得した単位は、それぞれ20単位を限度として在籍する専攻の全学共通教育科目の単位に含めることができる。

第13条の3 健康科学部リハビリテーション学科の学生は、在籍する専攻の基礎教養科目及び専門教育科目の中から126単位以上を修得しなければならない。

2 前項に規定する修得単位数は、基礎教養科目から20単位以上、専門教育科目から106単位以上、合計126単位以上とする。

第14条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学の第1年次に入学する前に大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。）において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学に入学した後に本学において修得したものとみなすことができる。

2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学の第1年次に入学する前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 第1項により修得したものとみなし又は第2項により与えることのできる単位数は、合わせて60単位を超えないものとする。ただし、本学に入学する前に本学において修得した単位数はこの限りではない。

4 第1項及び第2項に関する事項は、別に定める。

第14条の2 本学の学生が他の大学又は短期大学（留学する場合の外国の大学又は短期大学を含む。）において修得した単位を教育上有益と認めるときは、第14条第3項により修得したものとみなし又は与えることのできる単位数と合わせて60単位を超えない範囲で、これを本学において修得したものとみなすことができる。

2 本学の学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、教育上有益と認めるときは本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前項により与えることのできる単位数は、第14条第3項により修得したものとみなし又は与えることのできる単位数、並びに第1項の修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

4 第1項及び第2項に関する事項は、別に定める。

第15条 本学において教育職員免許状を得ようとする者は、第13条及び第13条の2に規定された科目のほか、教育職員免許法及び同法施行規則に基づく所定の科目の単位を修得しなければならない。

2 各学部学科において取得できる教育職員免許状の種類及び教科は次のとおりとする。

家 政 学 部

児 童 学 科	児 童 学 専 攻	幼稚園教諭一種免許状
	育児支援専攻	幼稚園教諭一種免許状
児童教育学科		幼稚園教諭一種免許状
		小学校教諭一種免許状
栄 養 学 科	栄 養 学 専 攻	中学校教諭一種免許状（家庭・保健）
		高等学校教諭一種免許状（家庭・保健）
	管理栄養士専攻	中学校教諭一種免許状（理科）
		高等学校教諭一種免許状（理科）
		栄養教諭一種免許状
服飾美術学科		中学校教諭一種免許状（家庭）
		高等学校教諭一種免許状（家庭）
環境教育学科		高等学校教諭一種免許状（情報）
		中学校教諭一種免許状（理科）
		高等学校教諭一種免許状（理科）
造形表現学科		中学校教諭一種免許状（美術）
		高等学校教諭一種免許状（美術）

人 文 学 部

英語コミュニケーション学科		中学校教諭一種免許状（英語）
		高等学校教諭一種免許状（英語）
心理カウンセリング学科		養護教諭一種免許状
教育福祉学科		中学校教諭一種免許状（社会）
		高等学校教諭一種免許状（公民）

子 ども 学 部

子ども支援学科		幼稚園教諭一種免許状
---------	--	------------

特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）

第15条の2 第15条のほか、本学において次の資格を取得しようとする者は、それぞれ所定の科目の単位を修得しなければならない。

- 1) 家政学部服飾美術学科及び造形表現学科で学芸員資格を取得しようとする者は、博物館法及び博物館法施行規則に基づく学科所定の科目の単位を修得しなければならない。前記以外の学科で学芸員資格を取得しようとする者は、博物館法及び博物館法施行規則に基づく所定の科目の単位を修得しなければならない。
- 2) 図書館司書の資格を取得しようとする者は、第13条及び第13条の2に規定された科目のほか、図書館法及び図書館法施行規則に基づく所定の科目の単位を修得しなければならない。
- 3) 学校図書館司書教諭の資格を取得しようとする者は、第15条に規定された科目のほか、学校図書館司書教諭講習規程に基づく学科所定の科目の単位を修得しなければならない。

第16条 第15条のほか、家政学部において次の資格を取得しようとする者は、それぞれ所定の科目の単位を修得しなければならない。

- 1) 保育士資格を取得しようとする者は、第13条に規定された科目のほか、児童福祉法及び同法施行規則に基づく児童学科児童学専攻及び育児支援専攻の所定の科目の単位を修得しなければならない。
 - 2) 栄養士資格を取得しようとする者は、第13条及び第13条の2に規定された科目のほか、栄養士法及び同法施行規則に基づく栄養学科の所定の科目の単位を修得しなければならない。
 - 3) 衣料管理士資格を取得しようとする者は、第13条に規定された科目のほか、日本衣料管理協会指定に基づく服飾美術学科の所定の科目の単位を修得しなければならない。
- 2 管理栄養士国家試験の受験資格を取得しようとする者は、第13条の2に規定された科目のほか、栄養士法及び同法施行規則に基づく栄養学科管理栄養士専攻の所定の科目の単位を修得しなければならない。
- 3 食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格を取得しようとする者は、第13条及び第13条の2に規定された科目のほか、食品衛生法、同法施行令及び同法施行規則に基づく栄養学科栄養学専攻又は同科管理栄養士専攻の所定の科目の単位を修得しなければならない。

第16条の2 人文学部において社会教育法に定める社会教育主事の基礎資格を得ようとする者は、社会教育主事講習等規程に基づく所定の単位を修得しなければならない。

第16条の3 健康科学部看護学科において看護師、保健師及び助産師の国家試験受験資格を取得しようとする者は、保健師助産師看護師法及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づく所定の科目の単位を修得しなければならない。なお、看護学科の履修規程は別に定める。

第16条の4 健康科学部リハビリテーション学科作業療法学専攻・理学療法学専攻において、それぞれ作業療法士国家試験受験資格・理学療法士国家試験受験資格を取得しようとする者は、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則に基づく所定の科目の単位を修得しなければならない。

第16条の5 子ども学部において保育士資格を取得しようとする者は、児童福祉法及び同法施行規則に基づく子ども支援学科の所定の科目の単位を修得しなければならない。

第17条 毎学年に教授する授業科目、授業時間表及び授業担当者は、学年の始めにこれを発表する。ただし、臨時講義については随時発表する。

第18条 学生は毎学年の始めに、当該学年に履修する授業科目を選定して承認を得なければならない。

第19条 本章に規定する正規の授業のほか、随時課外講義、公開講義又は講習会を開催することがある。

第4章 入学、休学、転学、留学、退学及び復学

第20条 入学の時期は、毎学年の始めとする。

第21条 本学に入学することのできる者は、女子にして次の各号の一に該当する者でなければならない。

- 1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- 3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 4) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- 5) 文部科学大臣の指定した専修学校の高等課程を修了した者
- 6) 文部科学大臣の指定した者
- 7) 高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

第22条 本学に入学を志願する者は、本学所定の検定を受けなければならない。

第22条の2 前条の入学志願者については、別に定める規程により選考を行う。

2 本学の教育研究上の目的を達成するため、入学者受け入れの方針を定める。

- 3 入学者受け入れの方針に関する事項は、別に定める。
- 第23条 本学所定の検定を受ける者は、次の書類に所定の入学検定料を添えて指定の期日までに提出しなければならない。
- 1) 本学所定の用紙による入学願書
 - 2) 出身学校長の調査書
- 第24条 本学所定の検定に合格した者は、入学金、施設設備維持充実費及び授業料等を指定された期日までに納入しなければならない。
- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。
- 第24条の2 本学に入学を許可された者は、本人及び保証人の誓約書を指定された期日までに提出しなければならない。
- 第25条 保証人は父母又は独立の生計を営む者で、確実に保証人としての責務を果し得る者でなければならない。保証人として不適当と認められた時は、その変更を命ずることができる。
- 第26条 保証人は保証する学生の在学中、その一身上に関する事項について一切の責任に任じなければならない。
- 第27条 保証人が死亡し、又はその他の事由でその責務を果し得ない場合は、新たに保証人を選定し届け出なければならない。
- 第28条 保証人が住所を変更した場合には、直ちにその旨を届け出なければならない。
- 第29条 病気その他の理由で引続き3か月以上出席することができない者はその理由を記載し、保証人連署で願い出て、その許可を得て休学することができる。
- 2 病気を理由とする休学願には、医師の診断書を添付しなければならない。
- 第30条 休学は当該年度内に限る。ただし、特別の事情のある場合には、引続き更に1年以内休学を許可する。
- 2 休学は、通算3か年を超えることはできない。
- 第31条 休学期間中は第49条による授業料は、その4分の1を納めなければならない。
- 第32条 休学者の復学は前期又は後期の始めとする。ただし、事情によりその変更を許可することがある。
- 第33条 休学期間は在学年数に算入しない。
- 第34条 本学に学士入学、転入学又は編入学を志願する者は選考の上これを許可することがある。
- 2 前項に関する規程は別に定める。
- 3 編入学を志願できる者は、次の各号の一に該当する者とする。
- 1) 短期大学（外国の短期大学を含む。）を卒業した者及び卒業見込みの者
 - 2) 大学（外国の大学を含む。）に2年以上在学して62単位以上を修得した者及び修得見込みの者
- 第35条 本学の学生で他の大学に転入学又は編入学を志望する者は、所定の手続きを経なければならない。
- 2 前項に関する規程は別に定める。
- 第36条 本学の学生で特別の事情により、他の学部、同一学部内の他の学科又は同一学科内の他の専攻に転学部、転学科又は転専攻を志望する者は選考の上これを許可することがある。
- 2 前項に関する規程は別に定める。
- 第36条の2 外国の大学又は短期大学に留学しようとする者は、所定の手続きを経て教授会の承認を得なければならない。
- 2 留学の手続きその他留学に関し必要な事項は、別に定める。
- 第36条の3 本学は、教育上有益と認めるときは、外国の大学又は短期大学との協議に基づき、学生が当該大学に留学することを認めることができる。
- 2 前項の規定により学生が留学する場合、休学の取り扱いをしないものとする。
- 3 留学の手続きその他留学に関し必要な事項は、別に定める。
- 第37条 退学しようとする者は、理由を具し保証人連署で在籍期間内に願い出なければならない。
- 2 学年の途中で退学する者は、第48条に規定する施設設備維持充実費及び第49条に規定する授業料その他の学費を在籍した期に応じて納めなければならない。
- 第38条 いったん退学した者が再入学を志願したときは、選考の上これを許可することがある。
- 第39条 本学に引続き在学できる期間は8年間とする。
- 第40条 第30条及び第39条の規定の期間を過ぎた者は、除籍に付する。

第5章 学習の評価と卒業の認定

- 第41条 所定の授業科目を履修した者に対して、試験等の成績を評価して単位を与える。
- 2 試験等は、第48条及び第49条に規定する当該期の学費等を納入した者でなければ、受験することはできない。
- 第42条 試験の方法は筆記試験、口述試験及び論文試験の3種類とする。ただし、平常点をもって試験に代えること

ができる。

第43条 試験の成績は秀・優・良・可・不可の5級に分ち、秀・優・良・可を合格、不可を不合格とする。ただし、授業科目により合・否の2級に分ち、合を合格、否を不合格とする。

第44条 試験に関する事項は、別に定める。

第45条 本学において所定の単位を修得した者には、願い出により単位修得の証明を与える。

第46条 本学に4年以上在学し、所定の授業科目を履修し、学修の成果を獲得して所定の単位を修得した者は卒業要件を満たした者とし、学位を授与する。

第47条 前条により本学を卒業した者で、家政学部の者には学士（家政学）、人文学部の者には学士（文学）、健康科学部看護学科の者には学士（看護学）、リハビリテーション学科作業療法学専攻の者には学士（作業療法学）、理学療法学専攻の者には学士（理学療法学）、子ども学部の者には学士（子ども学）の学位を授与する。

2 学位授与の方針に関する事項は、別に定める。

第6章 学費等

第48条 本学所定の検定に合格した者は、次の学費を指定された期日までに納めなければならない。

入 学 金	300,000円
施設設備維持充実費	300,000円（年額）

ただし、施設設備維持充実費は入学時に150,000円を、残額150,000円は1年次後期に納入する。第2年次以降は毎年度320,000円を前期・後期に分けて納入するものとする。

第49条 授業料は、健康科学部以外は年額初年度720,000円、第2年次以降740,000円、健康科学部は年額初年度1,000,000円、第2年次以降1,020,000円とし、これを2期に分け、それぞれ半額を前期は4月、後期は10月の指定された期日までに納めなければならない。

2 前項の授業料のほか、次の実験実習等経費（年間）を指定された期日までに納めなければならない。

家政学部	児 童 学 科	児 童 学 専 攻	} 50,000円
		育 児 支 援 専 攻	
	児童教育学科		50,000円
		栄 養 学 科	栄 養 学 専 攻
	管 理 栄 養 士 専 攻		
人文学部	服飾美術学科		60,000円
	環境教育学科		65,000円
	造形表現学科		70,000円
	英語コミュニケーション学科		35,000円
	心理カウンセリング学科		60,000円
	教育福祉学科		60,000円
健康科学部	看護学科		250,000円
	リハビリテーション学科	作 業 療 法 学 専 攻	} 200,000円
	理 学 療 法 学 専 攻		
子ども学部	子ども支援学科		50,000円

3 第1項の授業料及び前項の実験実習等経費は、経済情勢等の著しい変化が生じた場合にはさらに改定することができる。

第50条 （削除）

第51条 各種資格取得希望の者は、授業料のほか課程ごとに所定の課程費を指定された期日までに納めなければならない。

第51条の2 本学に在学する学生で、学業、人物とも優秀であり、特別な事由により修学困難であると認められた者は、渡辺学園奨学金を受給することができる。

2 前項に関する規程は別に定める。

第52条 第48条に規定する施設設備維持充実費の分納額及び第49条に規定する授業料その他の学費の納入を怠った者は、除籍処分にする。

第53条 すでに納めた入学金、授業料その他の学費は事情の如何にかかわらずこれを返還しない。ただし、本学所定の検定に合格した者が、所定の期間内に入学辞退及びすでに納めた学費等の返還を申し出た場合に限り、入学金を除

いて返還する。

第7章 賞 罰

第54条 人格及び学業ともに優秀な学生については、教授会の議を経て表彰し、又は特典を与えることがある。

第55条 本学の教育方針に違反し、学生の本分に著しく反する行為があると認められた学生は、教授会の議を経て懲戒することがある。

第56条 懲戒は、訓戒・停学・退学の3種類とする。

第57条 次の各号の一に該当する者は退学処分に付する。

- 1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
- 2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められた者
- 3) 正当の理由なく出席常でない者
- 4) 本学の秩序を乱し、その他学生の本分に著しく反した者

第8章 委託学生、科目等履修生、特別聴講学生、外国人留学生及び研究生

第58条 官公庁、外国政府より委託された者は、正規の学生の学修に妨げがない限り、選考の上委託学生として学修を許可する。

第59条 本学の正規の学生以外の者(本学と協定を締結している大学の学生で単位認定を要する者及び本学大学院の学生を含む。)で、本学の開設する授業科目のうち1又は複数の授業科目の履修を願い出た者があるときは、正規の学生の学修に支障がない限り、教授会の議を経て学長が履修を許可する。

2 前項により履修を許可された者を科目等履修生という。

3 科目等履修生に関する規程は別に定める。

第59条の2 本学と協定を締結している大学の学生で、単位互換制度により本学所定の授業科目の履修を願い出た者があるときは、大学間で協議のうえ履修を許可する。

2 前項により履修を許可された者を特別聴講学生という。

3 特別聴講学生に関する事項は別に定める。

第60条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がある時は、選考の上外国人留学生として入学を許可することがある。

第61条 特定の専門事項について研究しようとする者があるときは、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 前項に関する規程は別に定める。

第62条 委託学生及び外国人留学生は、第21条に規定する入学資格を有する者でなければならない。

第63条 委託学生及び外国人留学生は、履修した授業科目について試験を受けなければならない。試験を受けた者には証明書を交付する。

第64条 科目等履修生及び研究生の学費は別に定める。

2 科目等履修生及び研究生の実験実習費その他必要な費用は別に納める。

3 いったん納めた学費、実験実習費及びその他必要な費用は事情の如何にかかわらず返還しない。

4 当該年度に科目等履修生として履修を許可された者が、引き続き次年度以降の前期若しくは後期又は前期・後期に履修を希望し許可されたときは、入学金を免除する。

第65条 委託学生及び外国人留学生については、本章の規定のほか、他の各章の規定を準用する。

第66条 科目等履修生については、本章の規定のほか、正規の学生に関する規定を準用する。

第9章 教職員組織

第67条 本学に学長、学部長、科長をおき、また、副学長をおくことができる。

2 学長は校務を掌り、所属教職員を統督する。

3 副学長は学長を助け、命を受けて校務を掌る。

4 学部長は当該学部を統括し、学長を補佐する。

5 科長は当該学科を統括し、学部長を補佐する。

第68条 本学に教授、准教授、講師、助教、助手をおく。

2 教授は特に優れた知識、能力及び実績を有する者で、学生を教授し、その研究を指導し、かつ研究に従事する。

3 准教授及び講師は優れた知識、能力及び実績を有する者で、学生を教授し、その研究を指導し、かつ研究に従事する。

4 助教は知識及び能力を有する者で、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

- 5 助手は教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 第69条 本学に事務職員をおく。
- 2 事務職員は学長の命により大学の事務を行う。
 - 3 前項に定める事務職員の能力及び資質向上をはかるための組織的な研修等（スタッフ・ディベロップメント：SD という。）を行うものとする。
 - 4 SDに関する事項は、別に定める。

第10章 教授会

- 第70条 本学に教授会をおく。教授会は教授、准教授及び講師をもって組織する。
- 2 教授会は、別に定める教授会規程により教育及び研究に関する事項について審議する。
 - 3 教授会は、次の事項を審議し、意見・結果を学長に報告しなければならない。
 - 1) 学生の入学、卒業及び課程修了に関する事項
 - 2) 学位の授与に関する事項
 - 3) 学生の賞罰に関する事項
 - 4) 教育課程及び授業科目の学年配当に関する事項
 - 5) 教員の教育研究業績の審査に関する事項
 - 4 教授会は、次の事項を審議し、意見・結果を学長等に報告することができる。
 - 1) 教育・研究及びその施設・設備の計画並びに運営に関する事項
 - 2) 学生の退学、転学、留学及び休学等に関する事項
 - 3) 学習の評価に関する事項
 - 4) 学生の学園生活に関する事項
 - 5) 学部に関わる学則及び諸規程に関する事項
 - イ 制定と改廃に関する事項
 - ロ 適用に関する事項
 - 6) 学部長から諮問された事項
 - 7) 前各号以外の教育・研究に関する事項

第11章 学寮及び厚生補導機関

- 第71条 本学に学生のための学寮をおく。
- 2 学寮に関する細則は別に定める。
- 第72条 本学に学生の健康の保持増進を図るため板橋校舎に保健センターを、狭山校舎に狭山保健室を設ける。
- 第73条 学生の体育向上に資する目的をもって、競技場、体育館その他の球技場を設ける。
- 2 学生の研修及び福利厚生施設として、箱根仙石セミナーハウスを設ける。
 - 3 学生の研修施設として、狭山セミナーハウスかせいの森を設ける。
- 第74条 本学に学生の厚生のため、学生集会所を設ける。
- 第75条 学生の生活を円滑にし、修学の目的達成に協力するために補導機関をおく。
- 2 補導機関に関する規程は別にこれを定める。

第12章 図書館、研究所、博物館、国際交流センター、生涯学習センター、臨床相談センター、地域連携推進センター、ヒューマンライフ支援センター、学修・教育開発センター及びかせい森のクリニック

- 第76条 本学に図書館を設け、図書その他の文献及び研究資料を収集管理し、教職員及び学生の閲覧に供する。
- 2 図書館に関する規程は、別にこれを定める。
- 第77条 本学に、生活科学に関する研究及びその実用化並びに向上に寄与することを目的として生活科学研究所をおき、女性の社会貢献に関する研究及び調査をとおしてその発展に寄与することを目的として女性未来研究所をおく。
- 2 各研究所に関する規程は、別にこれを定める。
- 第78条 本学に、生活文化に関する資料を収集・保管・展示・調査し、教育研究に寄与するため、博物館をおく。
- 2 博物館に関する規程は、別にこれを定める。
- 第78条の2 本学に、学生（院生を含む。）及び教職員の教育、研究及び文化等の国際交流を図るため国際交流センターをおく。
- 2 国際交流センターに関する規程は、別にこれを定める。
- 第78条の3 本学に、社会人の生涯学習に寄与し、文化の向上に資するため生涯学習センターをおき、公開講座及び

諸講座を開設する。

2 生涯学習センターに関する規程は、別にこれを定める。

第78条の4 本学に、地域の臨床心理相談に応じるとともに本学の学生及び大学院生等の実習の場とするため臨床相談センターをおく。

2 臨床相談センターに関する規程は、別にこれを定める。

第78条の5 本学に、地域と連携・協力を図るとともに地域社会に貢献するため地域連携推進センターをおく。

2 地域連携推進センターに関する規程は、別にこれを定める。

第78条の6 本学に、これまで培ってきた知的資源を有効に生かすために、学部・学科横断的な先駆的取組みを行うとともに、卒業生及び地域に還元し、広く社会に貢献することを目的として、ヒューマンライフ支援センターをおく。

2 ヒューマンライフ支援センターに関する規程は、別にこれを定める。

第78条の7 本学に、学生の学修の充実・向上に資するべく、全学の教育活動の改善に向けて組織的かつ継続的に取り組むことを目的として学修・教育開発センターをおく。

2 学修・教育開発センターに関する規程は、別にこれを定める。

第78条の8 本学に、地域の慢性疾患、発達障害を持つ子どもを対象として治療・研究を行うとともに、本学学生の臨床教育の実践及び実習等に寄与するため、かせい森のクリニックをおく。

2 かせい森のクリニックに関する規程は、別にこれを定める。

第79条 (削除)

第13章 研 究 員

第80条 本学に研究員をおき、研究に従事させる。

2 研究員に関する細則は別にこれを定める。

附 則

この学則は、昭和24年4月1日より施行する。

附 則

1 この学則は、昭和25年4月1日より施行する。

2 昭和25年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

1 この学則は、昭和27年4月1日より施行する。

2 昭和27年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

1 この学則は、昭和29年4月1日より施行する。

2 昭和29年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

1 この学則は、昭和33年4月1日より施行する。

2 昭和33年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

1 この学則は、昭和37年4月1日より施行する。

2 昭和37年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和38年4月1日より施行する。
- 2 昭和38年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和41年4月1日より施行する。
- 2 昭和41年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和42年4月1日より施行する。
- 2 昭和42年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和45年4月1日より施行する。
- 2 昭和45年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和46年4月1日より施行する。
- 2 昭和46年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和47年4月1日より施行する。
- 2 昭和47年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和49年4月1日より施行する。
- 2 昭和49年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和50年4月1日より施行する。
- 2 昭和50年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和51年4月1日より施行する。
- 2 昭和51年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和52年4月1日より施行する。
- 2 昭和52年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和53年4月1日より施行する。
- 2 昭和53年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和54年4月1日より施行する。
- 2 昭和54年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和55年4月1日より施行する。
- 2 昭和55年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和56年4月1日より施行する。
- 2 昭和56年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和57年4月1日より施行する。
- 2 昭和57年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和58年4月1日より施行する。
- 2 昭和58年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和59年4月1日より施行する。
- 2 昭和59年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和60年4月1日より施行する。
- 2 昭和60年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和61年4月1日より施行する。
- 2 昭和61年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和62年4月1日より施行する。
ただし、第6条の規定にかかわらず、昭和62年度から昭和70年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

家政学部

児童学科	児童学専攻	入学定員	50名
	児童教育専攻	入学定員	50名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	160名
	管理栄養士専攻	入学定員	50名

服飾美術学科	被服専攻	入学定員	150名
	美術専攻	入学定員	60名
計		入学定員	520名
文学部			
英語英文学科		入学定員	100名
心理教育学科		入学定員	50名
計		入学定員	150名

2 昭和62年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、昭和63年4月1日より施行する。
- 2 昭和63年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

- 1 この学則は、平成元年4月1日より施行する。
- 2 平成元年3月31日以前の入学者にあつては、第8条、第15条及び第16条の規定並びに第48条の施設維持費の額を除くほか、それぞれ入学時の従前の規定による。
- 3 平成元年4月1日以降分納する施設維持費は、それぞれ次のとおりとする。

昭和61年度入学者	82,400円
昭和62年度入学者	103,000円
昭和63年度入学者	123,600円
- 4 入学金については、平成元年3月31日以前に納入する場合の金額は260,000円とし、平成元年4月1日以降納入する場合の金額は267,800円とする。
- 5 聴講生の入学金については、平成元年3月31日以前に納入する場合の金額は20,000円とし、平成元年4月1日以降納入する場合の金額は20,600円とする。

附 則

- 1 この学則は、平成2年4月1日より施行する。
ただし、第6条の規定にかかわらず、平成2年度から平成7年度までの間の入学定員及び平成8年度から平成10年度までの間の入学定員はそれぞれ次のとおりとする。

1) 平成2年度から平成7年度までの間の入学定員

家政学部

児童学科	児童学専攻	入学定員	60名
	児童教育専攻	入学定員	60名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	160名
	管理栄養士専攻	入学定員	80名
服飾美術学科	被服専攻	入学定員	150名
	美術専攻	入学定員	60名
計		入学定員	570名

文学部

英語英文学科	入学定員	100名
心理教育学科	入学定員	100名
計	入学定員	200名

2) 平成8年度から平成10年度までの間の入学定員

家政学部

児童学科	児童学専攻	入学定員	60名
	児童教育専攻	入学定員	60名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	150名
	管理栄養士専攻	入学定員	80名

服飾美術学科	被服専攻	入学定員	100名
	美術専攻	入学定員	40名
計		入学定員	490名
文学部			
英語英文学科		入学定員	100名
心理教育学科		入学定員	100名
計		入学定員	200名

2 昭和62年4月1日の改正学則の附則第1項ただし書の規定中「昭和62年度から昭和70年度までの間」を「昭和62年度から平成元年度までの間」に改める。

3 平成2年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

1 この学則は、平成3年4月1日より施行する。

2 平成3年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

ただし、平成2年4月1日に文学部心理教育学科第1学年に入学した学生については、前項で施行する学則の第12条に規定する教育課程表（専攻科目・教職等に関する専門科目）による。

附 則

1 この学則は、平成4年4月1日より施行する。

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成4年度から平成7年度までの間の入学定員、平成8年度から平成10年度までの間の入学定員及び平成11年度の入学定員はそれぞれ次のとおりとする。

1) 平成4年度から平成7年度までの間の入学定員

家政学部

児童学科	児童学専攻	入学定員	60名
	児童教育専攻	入学定員	60名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	110名
	管理栄養士専攻	入学定員	80名
	環境情報専攻	入学定員	100名
服飾美術学科	被服専攻	入学定員	150名
	美術専攻	入学定員	80名
計		入学定員	640名

文学部

英語英文学科		入学定員	180名
心理教育学科		入学定員	100名
計		入学定員	280名

2) 平成8年度から平成10年度までの間の入学定員

家政学部

児童学科	児童学専攻	入学定員	60名
	児童教育専攻	入学定員	60名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	100名
	管理栄養士専攻	入学定員	80名
	環境情報専攻	入学定員	100名
服飾美術学科	被服専攻	入学定員	100名
	美術専攻	入学定員	60名
計		入学定員	560名

文学部

英語英文学科		入学定員	180名
心理教育学科		入学定員	100名
計		入学定員	280名

3) 平成11年度の入学定員

家政学部			
児童学科	児童学専攻	入学定員	50名
	児童教育専攻	入学定員	50名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	100名
	管理栄養士専攻	入学定員	50名
	環境情報専攻	入学定員	100名
服飾美術学科	被服専攻	入学定員	100名
	美術専攻	入学定員	60名
	計	入学定員	510名
文学部			
	英語英文学科	入学定員	180名
	心理教育学科	入学定員	50名
	計	入学定員	230名

2 平成4年3月31日以前の入学者にあつては、第48条の施設維持費の額を除くほか、それぞれ入学時の従前の規定による。

3 平成4年4月1日以降分納する施設維持費は、それぞれ次のとおりとする。

平成元年度入学者	120,000円
平成2年度入学者	120,000円
平成3年度入学者	194,000円

附 則

1 この学則は、平成5年4月1日より施行する。

2 平成5年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の規定による。

附 則

1 この学則は、平成6年4月1日より施行する。

2 平成6年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成7年4月1日より施行する。

2 平成7年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成8年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成8年度から平成10年度までの間の入学定員及び平成11年度の入学定員は、それぞれ次のとおりとする。

1) 平成8年度から平成10年度までの間の入学定員

家政学部			
児童学科	児童学専攻	入学定員	60名
	児童教育専攻	入学定員	60名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	110名
	管理栄養士専攻	入学定員	80名
	環境情報専攻	入学定員	100名
服飾美術学科	被服専攻	入学定員	150名
	美術専攻	入学定員	80名
	計	入学定員	640名
文学部			
	英語英文学科	入学定員	180名

心理教育学科		入学定員	100名
計		入学定員	280名
2) 平成11年度の入学定員			
家政学部			
児童学科	児童学専攻	入学定員	50名
	児童教育専攻	入学定員	50名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	110名
	管理栄養士専攻	入学定員	50名
	環境情報専攻	入学定員	100名
服飾美術学科	被服専攻	入学定員	150名
	美術専攻	入学定員	80名
計		入学定員	590名
文学部			
英語英文学科		入学定員	180名
心理教育学科		入学定員	50名
計		入学定員	230名

2 平成8年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

3 平成7年4月1日から同8年3月31日までに科目等履修生として許可されている者が、引き続き平成8年4月1日以降の前期若しくは後期又は前期・後期に履修を希望し許可されたときは、第64条第4項の規定を適用する。

附 則

1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成9年度から平成10年度までの間の入学定員及び平成11年度の入学定員は、それぞれ次のとおりとする。

1) 平成9年度から平成10年度までの間の入学定員

家政学部			
児童学科	児童学専攻	入学定員	60名
	児童教育専攻	入学定員	60名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	110名
	管理栄養士専攻	入学定員	80名
服飾美術学科	服飾専攻	入学定員	150名
	美術専攻	入学定員	80名
環境情報学科		入学定員	100名
計		入学定員	640名
文学部			
英語英文学科		入学定員	180名
心理教育学科		入学定員	100名
計		入学定員	280名

2) 平成11年度の入学定員

家政学部			
児童学科	児童学専攻	入学定員	50名
	児童教育専攻	入学定員	50名
栄養学科	栄養学専攻	入学定員	110名
	管理栄養士専攻	入学定員	50名
服飾美術学科	服飾専攻	入学定員	150名
	美術専攻	入学定員	80名
環境情報学科		入学定員	100名
計		入学定員	590名
文学部			
英語英文学科		入学定員	180名
心理教育学科		入学定員	50名

計 入学定員 230名

2 平成9年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。

2 平成10年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

ただし、第7条及び第8条の規定については、この限りではない。

附 則

1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成11年度の入学定員は、次のとおりとする。

家政学部

児 童 学 科	児 童 学 専 攻	入学定員	60名
	児 童 教 育 専 攻	入学定員	60名
栄 養 学 科	栄 養 学 専 攻	入学定員	110名
	管 理 栄 養 士 専 攻	入学定員	80名
服 飾 美 術 学 科	服 飾 専 攻	入学定員	150名
	美 術 専 攻	入学定員	80名
環 境 情 報 学 科		入学定員	100名
計		入学定員	640名

文 学 部

英 語 英 文 学 科	入学定員	180名
心 理 教 育 学 科	入学定員	100名
計	入学定員	280名

2 平成11年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

ただし、第16条第1項第1号の規定については、この限りではない。

附 則

1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成12年度から平成18年度までの定員は次のとおりとする。

学部・学科・専攻			平成12年度			平成13年度			平成14年度			平成15年度		
			入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
家 政 学 部	児 童 学 科	児 童 学 専 攻	80	5	265	80	5	290	80	5	310	80	5	330
		児 童 教 育 専 攻	64	5	249	63	5	257	62	5	259	61	5	260
	栄 養 学 科	栄 養 学 専 攻	95	5	430	95	5	420	95	5	405	95	5	390
		管 理 栄 養 士 専 攻	95	5	340	95	5	360	95	5	375	95	5	390
	服 飾 美 術 学 科	服 飾 専 攻	150	5	605	140	5	600	130	5	580	120	5	550
		美 術 専 攻	92	5	337	84	5	346	76	5	342	68	5	330
	環 境 情 報 学 科		99	5	404	98	5	407	97	5	404	96	5	400
計		675	35	2,630	655	35	2,680	635	35	2,675	615	35	2,650	
文 学 部	英 語 英 文 学 科		168	5	713	156	5	694	144	5	658	132	5	610
	心 理 教 育 学 科		99	5	404	98	5	407	97	5	404	96	5	400
	計		267	10	1,117	254	10	1,101	241	10	1,062	228	10	1,010

学部・学科・専攻			平成16年度			平成17年度			平成18年度		
			入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
家 政	児 童 学 科	児 童 学 専 攻	80	5	330	80	5	330	80	5	330
		児 童 教 育 専 攻	60	5	256	60	5	253	60	5	251

学 部	栄 養 学 科	栄 養 学 専 攻	95	5	390	95	5	390	95	5	390
		管 理 栄 養 士 専 攻	95	5	390	95	5	390	95	5	390
	服 飾 美 術 学 科	服 飾 専 攻	110	5	510	110	5	480	110	5	460
		美 術 専 攻	60	5	298	60	5	274	60	5	258
	環 境 情 報 学 科	95	5	396	95	5	393	95	5	391	
	計	595	35	2,570	595	35	2,510	595	35	2,470	
文 学 部	英 語 英 文 学 科	120	5	562	120	5	526	120	5	502	
	心 理 教 育 学 科	95	5	396	95	5	393	95	5	391	
	計	215	10	958	215	10	919	215	10	893	

2 東京家政大学短期大学部の卒業生が、本学に編入学する場合、第48条の規定にかかわらず、その者の入学金の額は当分の間150,000円とする。

3 平成12年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。

2 ただし、第6条の規定にかかわらず、平成13年度から平成18年度までの定員は次のとおりとする。

学部・学科・専攻			平成13年度			平成14年度			平成15年度		
			入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
家政学部	児童学科	児童学専攻	80	5	290	80	5	310	80	5	330
		児童教育専攻	63	5	257	62	5	259	61	5	260
	栄養学科	栄養学専攻	95	5	420	95	5	405	95	5	390
		管理栄養士専攻	130	10	400	130	10	455	130	10	505
	服飾美術学科	服飾専攻	140	5	600	130	5	580	120	5	550
		美術専攻	84	5	346	76	5	342	68	5	330
	環境情報学科	98	5	407	97	5	404	96	5	400	
計	690	40	2,720	670	40	2,755	650	40	2,765		
文学部	英語英文学科	156	5	694	144	5	658	132	5	610	
	心理教育学科	98	5	407	97	5	404	96	5	400	
	計	254	10	1,101	241	10	1,062	228	10	1,010	

学部・学科・専攻			平成16年度			平成17年度			平成18年度		
			入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
家政学部	児童学科	児童学専攻	80	5	330	80	5	330	80	5	330
		児童教育専攻	60	5	256	60	5	253	60	5	251
	栄養学科	栄養学専攻	95	5	390	95	5	390	95	5	390
		管理栄養士専攻	130	10	540	130	10	540	130	10	540
	服飾美術学科	服飾専攻	110	5	510	110	5	480	110	5	460
		美術専攻	60	5	298	60	5	274	60	5	258
	環境情報学科	95	5	396	95	5	393	95	5	391	
計	630	40	2,720	630	40	2,660	630	40	2,620		
文学部	英語英文学科	120	5	562	120	5	526	120	5	502	
	心理教育学科	95	5	396	95	5	393	95	5	391	
	計	215	10	958	215	10	919	215	10	893	

3 平成13年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成14年度から平成18年度までの定員は次のとおりとする。

学部・学科・専攻			平成14年度			平成15年度			平成16年度		
			入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
家政学部	児童学科	児童学専攻	60	5	290	60	5	290	60	5	270
		育児支援専攻	60	—	60	60	—	120	60	—	180
		児童教育専攻	62	5	259	61	5	260	60	5	256
	栄養学科	栄養学専攻	95	5	405	95	5	390	95	5	390
		管理栄養士専攻	130	10	455	130	10	505	130	10	540
	服飾美術学科	服飾専攻	140	5	590	130	5	570	120	5	540
		美術専攻	106	5	372	98	5	390	90	5	388
	環境情報学科		77	5	384	76	5	360	75	5	336
計		730	40	2,815	710	40	2,885	690	40	2,900	
文学部	英語英文学科	144	5	658	132	5	610	120	5	562	
	心理教育学科	97	5	404	96	5	400	95	5	396	
	計	241	10	1,062	228	10	1,010	215	10	958	

学部・学科・専攻			平成17年度			平成18年度		
			入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
家政学部	児童学科	児童学専攻	60	5	250	60	5	250
		育児支援専攻	60	—	240	60	—	240
		児童教育専攻	60	5	253	60	5	251
	栄養学科	栄養学専攻	95	5	390	95	5	390
		管理栄養士専攻	130	10	540	130	10	540
	服飾美術学科	服飾専攻	120	5	520	120	5	500
		美術専攻	90	5	394	90	5	378
	環境情報学科		75	5	313	75	5	311
計		690	40	2,900	690	40	2,860	
文学部	英語英文学科	120	5	526	120	5	502	
	心理教育学科	95	5	393	95	5	391	
	計	215	10	919	215	10	893	

2 平成14年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

3 東京家政大学、東京家政大学短期大学部の卒業生又は東京家政大学大学院修了者が、本学に入学する場合、第48条の規定にかかわらず、その者の入学金の額は当分の間150,000円とする。

附 則

1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。

ただし、第6条の規定にかかわらず、平成15年度から平成18年度までの定員は次のとおりとする。

なお、家政学部服飾美術学科の編入学定員及び収容定員には服飾専攻並びに美術専攻の定員を含む。

学部・学科・専攻			平成15年度			平成16年度			平成17年度		
			入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員	編入学定員	収容定員
家政学部	児童学科	児童学専攻	60	5	290	60	5	270	60	5	250
		育児支援専攻	60	—	120	60	—	180	60	—	240
		児童教育専攻	61	5	260	60	5	256	60	5	253
	栄養学科	栄養学専攻	95	5	390	95	5	390	95	5	390
		管理栄養士専攻	130	10	505	130	10	540	130	10	540
	服飾美術学科	130	10	862	120	10	740	120	5	631	
	環境情報学科	76	5	360	75	5	336	75	5	313	
	造形表現学科	98	—	98	90	—	188	90	5	283	
計	710	40	2,885	690	40	2,900	690	40	2,900		
文学部	英語英文学科	132	5	610	120	5	562	120	5	526	
	心理教育学科	96	5	400	95	5	396	95	5	393	
	計	228	10	1,010	215	10	958	215	10	919	

学部・学科・専攻			平成18年度		
			入学定員	編入学定員	収容定員
家政学部	児童学科	児童学専攻	60	5	250
		育児支援専攻	60	—	240
		児童教育専攻	60	5	251
	栄養学科	栄養学専攻	95	5	390
		管理栄養士専攻	130	10	540
	服飾美術学科	120	5	500	
	環境情報学科	75	5	311	
	造形表現学科	90	5	378	
計	690	40	2,860		
文学部	英語英文学科	120	5	502	
	心理教育学科	95	5	391	
	計	215	10	893	

2 平成15年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成16年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。ただし、第32条の規定については、この限りではない。

附 則

1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成17年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成18年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

3 東京家政大学、東京家政大学短期大学部の卒業生又は東京家政大学大学院修了者が、本学に入学する場合、第48条の規定にかかわらず、その者の入学金の額は当分の間150,000円とする。

附 則

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。
- 3 東京家政大学、東京家政大学短期大学部の卒業生又は東京家政大学大学院修了者が、本学に入学する場合、第48条の規定にかかわらず、その者の入学金の額は当分の間150,000円とする。
- 4 指定保育士養成施設における1学級の学生数については、別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。
- 3 東京家政大学短期大学部の卒業見込み者が併設短大推薦編入学試験に合格した場合に限り、第48条の規定にかかわらず、その者の入学金の額は当分の間150,000円とする。

附 則

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日以前の入学者にあつては、それぞれ入学時の従前の例による。

教育課程表

I. 全学共通教育科目

1. 全学共通教育科目は、A群から6単位以上、B群から4単位以上修得し、必修科目・選択科目を合わせて36単位以上修得する。
2. 全学共通教育科目及び専門教育科目を合わせて124単位（管理栄養士専攻は126単位）以上修得する。

区分	授業科目	単位数	必選別	備考	
人間教育科目（A群）	I	暮らしの探究（a）	2	選	
		暮らしの探究（b）	2	選	
	II	育ちの探究（a）	2	選	
		育ちの探究（b）	2	選	
	III	自立の探究（a）	2	選	
		自立の探究（b）	2	選	
	IV	人間の探究（a）	2	選	
		人間の探究（b）	2	選	
	V	社会の探究（a）	2	選	
		社会の探究（b）	2	選	
	VI	自然の探究（a）	2	選	
		自然の探究（b）	2	選	
	VII	自主講座	2	選	
	VIII	キャリア形成支援講座（a）	2	選	
キャリア形成支援講座（b）		2	選		
人間力育成科目（B群）	児童学科	児童文学	2	選	
		子ども環境論	2	選	
		生活	2	選	幼教選（児童のみ）
		幼児音楽C	2	選	
		幼児造形B	2	選	幼教選（児童のみ）
	児童教育学科	子ども・学校・社会	2	選	
		子どもと児童文学	2	選	
		障害と教育	2	選	
		学習過程論	2	選	
		レクリエーション実践演習	2	選	
	栄養学科	地球環境	2	選	理教必（管士のみ）
		化学	2	選	理教必（管士のみ）
		生涯発達心理学	2	選	
		臨床心理学	2	選	
		食の文化	2	選	F S 選
	服飾美術学科	衣の科学	2	選	
		衣の文化	2	選	
		繊維製品の取り扱い	2	選	
		ファッションデザイン概論	2	選	
		ファッションアクセサリー論	2	選	
環境教育学科	情報システム数学	2	選	情教必	
	生物保全学	2	選		
	海洋大気科学	2	選	理教必（環教のみ）	
	環境法規	2	選	公害必	
	環境対策	2	選	公害必	

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考	
人間力育成科目（B群）	造形表現学科	美の世界	2	選	
		住の文化	2	選	
		工芸論	2	選	学芸員必（表現のみ）
		環境造形論	2	選	
		デザイン概論	2	選	美教必 学芸員必（表現のみ）
	英語コミュニケーション学科	日本の文学Ⅰ	2	選	
		日本の文学Ⅱ	2	選	
		英米の歴史Ⅰ	2	選	
		日本語表現法Ⅰ	2	選	
		日本語表現法Ⅱ	2	選	
	セラピー心理学	心理カウンセリング基礎論	2	選	
		心理学概論	2	選	公心師必 認定心必
		健康・医療心理学	2	選	公心師必 認定心選
		家族心理学	2	選	認定心選（心カのみ）
		発達臨床心理学	2	選	認定心選（心カのみ）
	教育福祉学科	人間形成基礎論	2	選	
		心理学概論	2	選	公心師必 認定心必
		人間論	2	選	社教主選
		健康・医療心理学	2	選	公心師必 認定心選
		社会と人間	2	選	社教主選
一般基礎科目（C群）	家政学原論	2	選		
	哲学	2	選	社教必 公教必	
	経済学	2	選	社教必 公教必	
	日本国憲法	2	選	教必	
	心理学	2	選	公教必 社福土選 精保選	
	日本の歴史	2	選	社教必	
	社会学	2	選		
	コミュニケーション論	2	選	社教主選 図書必	
	家族関係学	2	選	家教必	
	生活経営学	2	選	家教必	
	生命科学	2	選	理教必（管士のみ）	
	統計学	2	選		
	日本事情	2	選	外国人留学生等特別科目	
言語文化科目（D群）	英語ⅠA	2	必	教必（英語コミュニケーション学科を除く） 保育士必	
	英語ⅠB	2	必	（英語コミュニケーション学科を除く）	
	英語Ⅱ	2	選	児童教育学科の学生のみ卒業必修 （英語コミュニケーション学科を除く）	
	ドイツ語ⅠA	2	選	（英語コミュニケーション学科を除く）	
	ドイツ語ⅠB	2	選	（英語コミュニケーション学科を除く）	
	ドイツ語Ⅱ	2	選	（英語コミュニケーション学科を除く）	
	フランス語ⅠA	2	選	（英語コミュニケーション学科を除く）	
	フランス語ⅠB	2	選	（英語コミュニケーション学科を除く）	
	フランス語Ⅱ	2	選	（英語コミュニケーション学科を除く）	
	中国語Ⅰ	2	選	（英語コミュニケーション学科を除く）	
	中国語Ⅱ	2	選	（英語コミュニケーション学科を除く）	
	コリア語Ⅰ	2	選		
	コリア語Ⅱ	2	選		

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
言語文化科目 (D群)	日本のことばと文化ⅠA	2	必	外国人留学生等特別科目
	日本のことばと文化ⅠB	2	必	
	日本のことばと文化ⅡA	2	必	
	日本のことばと文化ⅡB	2	必	
	語学研修A	2	選	(英語コミュニケーション学科を除く)
	語学研修B	4	選	(英語コミュニケーション学科を除く)
	語学研修C	4	選	(英語コミュニケーション学科を除く)
情報関連科目 (E群)	実践情報活用Ⅰ	2	必	教必 2級衣管士必
	実践情報活用Ⅱ	2	選	情教必
体育関連科目 (F群)	からだとスポーツⅠ	1	選	この中から2単位以上教選必、保育士選必
	からだとスポーツⅡ	1	選	
	自然とスポーツA	1	選	
	自然とスポーツB	1	選	
	体育と健康	2	選	教必 保育士必
教職関連科目 (G群)	教育概論Ⅰ	2	選	教必 保育士必 (教職に関する科目)
	教育概論Ⅱ	2	選	教必 幼教選 保育士選 (教職に関する科目)
	学校教育心理学	2	選	教必 保育士必 認定心選 (心カのみ) (教職に関する科目)
	教育制度論	2	選	教必 (教職に関する科目)

II. 専門教育科目

1. 家政学部

① 児童学科児童学専攻

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて88単位以上修得する。

区分	授業科目	単位数	必選別	備考
学科・ 基礎科目 専攻	児童学総論	2	必	
	児童学研究法	2	必	
	児童文化	2	必	保育士選
	保育原理	2	必	保育士必 社福主必
科目 基礎	保育心理学	2	必	保育士必
	子どもの保健Ⅰ	4	必	保育士必
	児童家庭福祉Ⅰ	2	必	保育士必
基礎 選択 科目	子どものことばと文化	1	選	幼教必 保育士必
	子どもの保健Ⅱ	2	選	保育士必
	子どもの栄養	2	選	保育士必
	音楽Ⅰ	2	選	保育士必
	音楽Ⅱ	2	選	保育士選
	幼児音楽A	2	選	幼教必
	幼児音楽B	2	選	幼教選
	造形	2	選	保育士必
	幼児造形A	2	選	幼教必
	体育	1	選	保育士必
幼児体育	2	選	幼教必	
保育 理論 科目	保育課程総論	2	選	幼教必 保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容総論	2	選	幼教必 保育士必 (教職に関する科目)
	保育方法論 (情報機器の操作を含む)	2	選	幼教必 (教職に関する科目)
	保育指導論	2	選	幼教必 保育士選 (教職に関する科目)
	発達教育心理学	2	選	保育士選
	小児保健	2	選	保育士選
	幼児理解と援助	2	選	幼教必 保育士選 (教職に関する科目)
	家庭支援論	2	選	保育士必
	社会的養護概論	2	選	保育士必
	社会福祉概論	2	選	保育士必 社福主必
	乳児保育演習	2	選	保育士必
	児童家庭福祉Ⅱ	2	選	保育士選
	社会的養護内容演習	2	選	保育士必
	相談援助	2	選	保育士必 社福主必
保育相談支援	2	選	保育士必	
保育 実践 科目	障がい児保育演習	2	選	保育士必
	保育内容演習 (健康)	1	選	幼教選 保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容演習 (人間関係)	1	選	幼教選 保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容演習 (環境)	1	選	幼教選 保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容演習 (ことば)	1	選	幼教選 保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容演習 (表現)	2	選	幼教必 保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容の研究 (健康)	1	選	幼教必 (教職に関する科目)
	保育内容の研究 (人間関係)	1	選	幼教必 (教職に関する科目)
	保育内容の研究 (環境)	1	選	幼教必 (教職に関する科目)
	保育内容の研究 (ことば)	1	選	幼教必 (教職に関する科目)
	保育内容の研究 (表現Ⅰ)	2	選	幼教必 (教職に関する科目)
	保育内容の研究 (表現Ⅱ)	2	選	幼教必 (教職に関する科目)
	保育内容の探究 (ことば)	2	選	幼教選
	保育の英語	1	選	
保育のパソコン	2	選		

区分	授業科目	単位数	必選別	備考		
児童学 研究 科目	児童学特講A	2	選	8単位以上選択必修		
	児童学特講B	2	選			
	児童学特講C	2	選			
	児童学特講D	2	選			
	児童学特講E	2	選			
	児童学特別演習A	2	選			
	児童学特別演習B	2	選			
	児童学特別演習C	2	選			
	児童学特別演習D	2	選			
	児童学特別演習E	2	選			
総合 科目 研究	総合演習	2	選	保育士必		
	ゼミナール	2	必			
	卒業研究	4	必			
実 習 科 目	ナースリー実習	1	必			
	保育実習指導Ⅰ	2	選	保育士必		
	保育実習Ⅰ	4	選	保育士必		
	保育実習指導Ⅱ	1	選	保育士選	①	①②どちらかの組合 わせを3単位保育士 選択必修
	保育実習Ⅱ	2	選	保育士選		
	保育実習指導Ⅲ	1	選	保育士選	②	
	保育実習Ⅲ	2	選	保育士選		

② 児童学科育児支援専攻

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて88単位以上修得する。

区分	授業科目	単位数	必選別	備	考
学科・専攻 基礎科目	児童学総論	2	必		
	児童学研究法	2	必		
	児童文化	2	必	保育士選	
	保育原理	2	必	保育士必	社福主必
基礎 科目	保育心理学	2	必	保育士必	
	子どもの保健Ⅰ	4	必	保育士必	
	児童家庭福祉Ⅰ	2	必	保育士必	
基礎 選 択 科 目	子どものことばと文化	1	選	幼教必	保育士必
	子どもの保健Ⅱ	2	選		保育士必
	子どもの栄養	2	選		保育士必
	音楽Ⅰ	2	選		保育士必
	音楽Ⅱ	2	選		保育士選
	幼児音楽A	2	選	幼教必	
	幼児音楽B	2	選	幼教選	
	造形	2	選		保育士必
	幼児造形A	2	選	幼教必	
	体育	1	選		保育士必
	幼児体育	2	選	幼教必	
保 育 理 論 科 目	保育課程総論	2	選	幼教必	保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容総論	2	選	幼教必	保育士必 (教職に関する科目)
	保育方法論 (情報機器の操作を含む)	2	選	幼教必	(教職に関する科目)
	保育指導論	2	選	幼教必	保育士選 (教職に関する科目)
	発達教育心理学	2	選		保育士選
	小児保健	2	選		保育士選
	幼児理解と援助	2	選	幼教必	保育士選 (教職に関する科目)
	家庭支援論	2	選		保育士必
	社会的養護概論	2	選		保育士必
	社会福祉概論	2	選		保育士必 社福主必
	乳児保育演習	2	選		保育士必
	児童家庭福祉Ⅱ	2	選		保育士選
	社会的養護内容演習	2	選		保育士必
	相談援助	2	選		保育士必 社福主必
保育相談支援	2	選		保育士必	
保 育 実 践 科 目	障がい児保育演習	2	選		保育士必
	保育内容演習 (健康)	1	選	幼教選	保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容演習 (人間関係)	1	選	幼教選	保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容演習 (環境)	1	選	幼教選	保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容演習 (ことば)	1	選	幼教選	保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容演習 (表現)	2	選	幼教必	保育士必 (教職に関する科目)
	保育内容の研究 (健康)	1	選	幼教必	(教職に関する科目)
	保育内容の研究 (人間関係)	1	選	幼教必	(教職に関する科目)
	保育内容の研究 (環境)	1	選	幼教必	(教職に関する科目)
	保育内容の研究 (ことば)	1	選	幼教必	(教職に関する科目)
	保育内容の研究 (表現Ⅰ)	2	選	幼教必	(教職に関する科目)
	保育内容の研究 (表現Ⅱ)	2	選	幼教必	(教職に関する科目)
	保育内容の探究 (表現)	2	選	幼教選	
	保育の英語	1	選		
保育のパソコン	2	選			

区分	授業科目	単位数	必選別	備	考
育児支援 研究 科目	育児支援特講A	2	選	8単位以上選択必修	ベビー必
	育児支援特講B	2	選		
	育児支援特講C	2	選		
	育児支援特講D	2	選		
	育児支援特講E	2	選		
	育児支援特別演習A	2	選		
	育児支援特別演習B	2	選		
	育児支援特別演習C	2	選		
	育児支援特別演習D	2	選		
	育児支援特別演習E	2	選		
総研 科目	総合演習	2	選	保育士必	
	ゼミナール	2	必		
	卒業研究	4	必		
実習 科目	ナースリー実習	1	選		
	保育実習指導Ⅰ	2	選	保育士必	
	保育実習Ⅰ	4	選	保育士必	
	保育実習指導Ⅱ	1	選	保育士選	① ② ①②どちらかの組合せ を3単位保育士選択必修
	保育実習Ⅱ	2	選	保育士選	
	保育実習指導Ⅲ	1	選	保育士選	
	保育実習Ⅲ	2	選	保育士選	

③ 児童教育学科

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて88単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
教育の基礎	基礎ゼミナールⅠ	2	必	
	基礎ゼミナールⅡ	2	必	
	専門ゼミナールⅠ	2	必	
	専門ゼミナールⅡ	2	必	
	卒業論文	4	必	
	発達心理学Ⅰ	2	必	
	発達心理学Ⅱ	2	選	
	教職基礎論	2	選	小教必 幼教必
	教育法規演習	2	選	
	教育方法・技術論	2	選	小教必 幼教必
	教育方法・技術の基礎	2	選	
	情報教育論	2	選	
	表現論	2	選	
	児童文化	2	選	
	児童文化演習	2	選	
	児童保健	2	選	
	教育課程論	2	選	小教必
教科の実践的指導(小)	国語科基礎研究	2	必	小教選
	社会科基礎研究	2	必	小教選
	算数科基礎研究	2	必	小教選
	理科基礎研究	2	必	小教選
	生活科基礎研究	2	必	小教選
	家庭科基礎研究	2	必	小教選
	道徳基礎研究	2	必	
	音楽科基礎Ⅰ	2	必	小教必 幼教必
	音楽科基礎Ⅱ	2	必	小教必 幼教必
	音楽科基礎Ⅲ	2	選	小教選 幼教選
	音楽科基礎Ⅳ	2	選	小教選 幼教選
	造形基礎Ⅰ	2	必	小教必 幼教必
	造形基礎Ⅱ	2	必	小教必 幼教必
	造形基礎Ⅲ	2	選	小教選 幼教選
	造形基礎Ⅳ	2	選	小教選 幼教選
	体育基礎実技Ⅰ	1	必	小教必 幼教必
	体育基礎実技Ⅱ	1	必	小教必 幼教必
	国語科教育法	2	選	小教必
	社会科教育法	2	選	小教必
	算数科教育法	2	選	小教必
	理科教育法	2	選	小教必
	生活科教育法	2	選	小教必
	音楽科教育法	2	選	小教必
図工科教育法	2	選	小教必	
家庭科教育法	2	選	小教必	
体育科教育法	2	選	小教必	

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
教科の 実践的 指導（小）	道徳教育法	2	選	小教必
	特別活動の研究	2	選	小教必
	国語学	2	選	小教必 幼教必
	書写教育法	2	選	小教必
	数学と生活	2	選	小教選 幼教選
	国語科教育演習	2	選	小教選
	社会科教育演習	2	選	小教選
	算数科教育演習	2	選	小教選
	理科教育演習	2	選	小教選
	体育科実践演習	2	選	小教選 幼教選
	総合学習論	2	選	小教選
	児童英語教育法Ⅰ	2	選	小教選
	児童英語教育法Ⅱ	2	選	
	児童英語教育演習Ⅰ	2	選	
	児童英語教育演習Ⅱ	2	選	
	初等教育講座	2	選	
	初等教育実技	2	選	
	介護等体験の研究	1	選	小教必
	教育実習（小）の研究	1	選	小教必
	教育実習（小）A	4	選	小教必
特別教育実習（小）	5	選	小教必	
教育実習（小）B	2	選	小教必	
教職実践演習（幼・小）	2	選	小教必 幼教必	
保育の 実践的 指導（幼）	保育課程総論	2	選	幼教必
	保育内容総論	2	選	幼教選
	小児栄養	2	選	幼教選
	保育指導論	2	選	幼教選
	保育内容の研究（健康）	2	選	幼教必
	保育内容の研究（人間関係）	2	選	幼教必
	保育内容の研究（環境）	2	選	幼教必
	保育内容の研究（ことば）	2	選	幼教必
	保育内容の研究（表現A）	2	選	幼教必
	保育内容の研究（表現B）	2	選	幼教必
	保育内容の研究（表現C）	2	選	幼教必
	幼児理解と援助	2	選	幼教必
	幼稚園教育演習	2	選	
	教育実習（幼）の研究	1	選	幼教必
	教育実習（幼）A	2	選	幼教必
教育実習（幼）B	2	選	幼教必	
生徒 ・指導 特別・ 支援 教育 相	生徒指導論	2	選	小教必
	スクールカウンセリング論	2	選	小教必
	特別支援教育概論	2	選	
	特別支援教育研究	2	選	
	特別支援教育演習Ⅰ	2	選	
	特別支援教育演習Ⅱ	2	選	

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
学級経営	学級集団論	2	選	
	学級経営論	2	選	小教選
	学級経営演習	2	選	
資格関連科目	自然体験活動実習	2	選	キャンプ必
	学校経営と学校図書館	2	選	図書教必
	学校図書館メディアの構成	2	選	図書教必
	学習指導と学校図書館	2	選	図書教必
	読書と豊かな人間性	2	選	図書教必
	情報メディアの活用	2	選	図書教必

④ 栄養学科栄養学専攻

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて88単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考				
健康と社会生活	健康管理学概論	1	必			食衛必		
	公衆衛生学Ⅰ	2	必	保教必	栄士必	食衛必		HACCP選
	公衆衛生学Ⅱ	2	必	保教必	栄士必	食衛必		HACCP選
人体の構造と機能	解剖生理学Ⅰ	2	必	保教必	栄士必	食衛必		HACCP選
	解剖生理学Ⅱ	2	必	保教必	栄士必	食衛必		
	解剖生理学実験	1	必	高保教必	栄士必	食衛必		
	生物有機化学	2	必			食衛必		HACCP選
	生化学概論	2	必	保教必	栄士必	食衛必	F S 選	
	生体分子代謝学	2	必		栄士必	食衛必		HACCP選
	生化学実験	1	必	高保教必	栄士必	食衛必		HACCP選
	微生物学	2	選					HACCP選
食品と衛生	食品学総論	2	必	家教必		食衛必	F S 必	HACCP選
	食品学各論	2	必	家教必	栄士必	食衛必	F S 必	HACCP選
	食品機能論	2	必		栄士必	食衛必	F S 必	HACCP選
	食品化学実験Ⅰ	1	必	高家教必	栄士必	食衛必	F S 必	HACCP選
	食品衛生学	2	必	保教必	栄士必	食衛必	F S 必	HACCP選
	食品衛生学実験	1	必	保教必	栄士必	食衛必	F S 選	HACCP選
栄養と健康	基礎栄養学	2	必	家教必	保教必	栄士必	食衛必	F S 必 HACCP選
	ライフステージ応用栄養学	2	必	保教必	栄士必	食衛必		
	栄養学各論実習	1	必		栄士必	食衛必		
	臨床栄養学総論	2	必		栄士必	食衛必		
	臨床栄養学各論Ⅰ	2	必		栄士必	食衛必		
	臨床栄養学実習	1	必		栄士必	食衛必		
栄養の指導	食生活論	1	必			食衛必		
	栄養指導論	2	必	保教必	栄士必	食衛必		
	栄養指導実習	1	必	高保教必	栄士必	食衛必		
	栄養カウンセリング論	2	必	高保教必	栄士必	食衛必		
	栄養カウンセリング実習	1	必	高保教必	栄士必	食衛必		
	公衆栄養学	2	必	保教必	栄士必	食衛必		
給食の運営	給食管理学	2	必		栄士必	食衛必		
	給食管理実習	2	必		栄士必	食衛必		
	栄養士実習	1	必		栄士必	食衛必		
	調理学Ⅰ	2	必	家教必	栄士必	食衛必	F S 必	
	調理科学実験	1	必		栄士必	食衛必	F S 必	HACCP選
	基礎調理実習Ⅰ	1	必	家教必	栄士必	食衛必	F S 必	HACCP選
	基礎調理実習Ⅱ	1	必	家教必	栄士必	食衛必	F S 必	HACCP選
コース共通科目	食品加工学	2	必	家教必		食衛必	F S 必	
	食品加工学実習	2	選					
	スポーツ栄養学	2	選					
	社会福祉学	2	必					
	食品微生物学(実験を含む)	2	必	保教必		食衛必	F S 必	

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
科 共 目 通 ス	総合栄養学演習Ⅰ	2	選	
	総合栄養学演習Ⅱ	2	選	
	卒業論文	6	必	
A 産 業 開 発 コ ー ス	フードスペシャリスト論	2	選	F S 必
	フードコーディネーター論	2	選	F S 必
	食品流通経済論	2	選	F S 必
	食品化学実験Ⅱ	2	選	F S 必
	食品バイオテクノロジー	2	選	F S 選
	食品機器分析化学実験	2	選	食衛必 F S 必
B 教 員 養 成 コ ー ス	調理学Ⅱ	2	選	
	食事計画論	2	選	高家教必
	食教育の研究	2	選	高家教必
	家庭科教育演習	2	選	
	応用調理実習	2	選	高家教必
C 栄 養 士 強 化 コ ー ス	HACCP実践演習	2	選	HACCP必
	病態生化学	2	選	
	環境応用栄養学	2	選	
	臨床栄養学各論Ⅱ	2	選	
	栄養生化学実験	2	選	F S 選 HACCP選
	病態生理学	2	選	HACCP選
教 科 関 連 科 目	保育学概論	2	選	家教必
	被服学概論	2	選	家教必
	住居学概論	2	選	家教必
	家庭工学	1	選	高家教必
	家庭工学実習	1	選	高家教必
	被服実習Ⅰ	1	選	家教必
	被服実習Ⅱ	1	選	家教必
	学校保健	2	選	保教必
	学校安全・救急看護法	2	選	保教必

⑤ 栄養学科管理栄養士専攻

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて90単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考	
専門基礎分野	社会と健康・環境	健康管理学概論	1	必	食衛必
		公衆衛生学Ⅰ	2	必	食衛必 管士必
		公衆衛生学Ⅱ	2	必	食衛必 管士必
		医療福祉論(社会福祉概論を含む)	2	必	管士必
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生物有機化学	2	必	理教必 食衛必
		生化学概論	2	必	高理教必 食衛必 管士必
		生体分子代謝学	2	必	食衛必 管士必
		生化学実験	1	必	理教必 食衛必 管士必
		栄養生化学実験	1	必	管士必
		解剖生理学Ⅰ	2	必	高理教必 食衛必 管士必
		解剖生理学Ⅱ	2	必	食衛必 管士必
		栄養生理学実験	1	必	管士必
		解剖生理学実験	1	必	理教必 食衛必 管士必
		微生物学	2	必	理教必 食衛必 管士必
		微生物学実験	1	必	高理教必 管士必
		病態栄養代謝学	2	必	管士必
		病態学実習	1	必	管士必
		病態栄養生理学	2	必	管士必
	運動生理学	2	選		
	食べ物と健康	食品学総論	2	必	食衛必
		食品学各論	2	必	食衛必 管士必
		食品機能論	1	必	食衛必 管士必
		食品化学実験Ⅰ	1	必	高理教必 食衛必 管士必
		食品化学実験Ⅱ	1	必	管士必
		食品加工学	1	必	食衛必 管士必
		食品加工学実習	1	必	管士必
		調理学	2	必	食衛必 管士必
		基礎調理学実習	2	選	
		応用調理学実習	2	選	
		食品衛生学	2	必	食衛必 管士必
		食品衛生学実験	1	必	食衛必 管士必
	食品機器分析化学実験	2	選	食衛必	
	専門分野	栄養基礎	基礎栄養学	2	必
基礎栄養学実習			1	必	管士必
スポーツ栄養学			2	選	
応用栄養学		ライフステージ応用栄養学	2	必	食衛必 管士必
		環境応用栄養学	2	必	食衛必 管士必
		栄養学各論実習	1	必	食衛必 管士必
		栄養アセスメント論	2	必	管士必

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考	
専門分野	栄養教育論	食生活論	1	必	食衛必
		栄養教育論	2	必	食衛必 管士必
		栄養教育実習	1	必	食衛必 管士必
		栄養カウンセリング論	2	必	食衛必 管士必
		栄養情報処理演習	2	必	管士必
	臨床栄養学	臨床栄養学総論	2	必	食衛必 管士必
		臨床病態生理学	2	必	食衛必 管士必
		栄養療法論	2	必	管士必
		栄養療法実習	1	必	管士必
		臨床病態代謝学	2	必	管士必
		臨床栄養学実習	1	必	管士必
	公衆栄養学	公衆栄養学	2	必	食衛必 管士必
		地域栄養学	2	必	管士必
		公衆栄養学実習	1	必	食衛必 管士必
	給食経営管理論	給食管理学(給食計画論、給食実務論を含む)	2	必	食衛必 管士必
		給食経営学(食料経済を含む)	2	必	管士必
		給食管理実習	2	必	食衛必 管士必
	総合演習	総合栄養学演習Ⅰ	2	必	管士必
		総合栄養学演習Ⅱ	2	必	管士必
		卒業論文	6	選	
	臨地実習	臨床栄養士実習	2	必	管士必
行政栄養士実習		1	必	管士必	
給食運営実習		1	必	食衛必 管士必	
教科関連科目	物理学Ⅰ	2	選	理教必	
	物理学Ⅱ	2	選	理教必	
	物理学実験	1	選	理教必	
	化学実験	1	選	理教必	
	生物学実験	1	選	理教必	
	地学	2	選	理教必	
	地学実験	2	選	理教必	
	情報処理演習	2	選	理教必	
	栄養教諭総論	2	選	栄教必	
	栄養教諭各論	2	選	栄教必	

⑥ 服飾美術学科

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて80単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
デザイン	色彩学	2	必	1級衣管士選
	色彩学実習	1	選	1級衣管士選
	アパレルデザイン表現実習Ⅰ	1	選	1級衣管士選
	アパレルデザイン表現実習Ⅱ	1	選	
	ファッションイラストレーション	1	選	
	コンピュータグラフィックス基礎	1	選	
	コンピュータグラフィックス	1	選	
	デザイン基礎概論	2	選	
	基礎造形実習	1	選	
	アパレルデザイン論	2	必	1級衣管士選 2級衣管士必
	アパレルデザイン実習Ⅰ	1	選	
	アパレルデザイン実習Ⅱ	1	選	
	アパレル企画論	2	選	1級衣管士必
	アパレル企画実習	1	選	1級衣管士選 2級衣管士必
	ビジュアルマーチャンダ「デザイン」論	2	選	
	ビジュアルマーチャンダ「デザイン」実習	1	選	
服飾造形	服飾造形基礎	1	必	
	服飾造形Ⅰ	2	必	家教必
	服飾造形Ⅱ	2	選	高家教必
	服飾造形Ⅲ	2	選	
	服飾造形Ⅳ	2	選	
	和服論	2	選	
	和服造形Ⅰ	2	選	高家教必
	和服造形Ⅱ	2	選	
	和服造形Ⅲ	2	選	
	和装文化実習	2	選	
	アパレル設計論	2	必	家教必 1級衣管士必
	アパレル生産論	2	選	1級衣管士必 2級衣管士必
	アパレル生産実習	2	選	1級衣管士必 2級衣管士必
	アパレルCAD	2	選	1級衣管士選
	パターン設計Ⅰ	2	選	
	パターン設計Ⅱ	2	選	
	立体裁断Ⅰ	2	選	
	立体裁断Ⅱ	2	選	
	機能アパレル論	2	選	1級衣管士選
	アパレル生理衛生論	2	選	1級衣管士必 2級衣管士必
アパレル生理衛生実験	1	選	1級衣管士選	
服飾工芸	ニードルアートⅠ	1	選	
	ニードルアートⅡ	1	選	
	ニットⅠ	1	選	
	ニットⅡ	1	選	
	服飾工芸論	2	選	
	帽子	1	選	
	テキスタイル実習(染)	1	選	
	テキスタイル実習(織)	1	選	

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
服飾文化	日本服飾文化史	2	選	2級衣管士必
	西洋服飾文化史	2	必	
	現代ファッション史	2	選	
	ファッション文化論	2	選	
	民族服飾論	2	選	
流通・消費	ファッション販売論	2	選	1級衣管士選
	マーケティング論	2	選	1級衣管士選
	ファッションビジネス論	2	選	1級衣管士選 2級衣管士必
	消費生活論	2	選	1級衣管士必 2級衣管士必
	消費科学	2	選	1級衣管士必 2級衣管士必
	ケーススタディ	1	選	1級衣管士選
素材・加工・整理	被服繊維学	2	必	1級衣管士必 2級衣管士必
	繊維学実験Ⅰ	1	必	1級衣管士必 2級衣管士必
	繊維学実験Ⅱ	1	選	1級衣管士選
	被服材料学	2	選	家教必 1級衣管士必 2級衣管士必
	被服材料学実験Ⅰ	1	選	家教必 1級衣管士必 2級衣管士必
	被服材料学実験Ⅱ	1	選	1級衣管士選
	染色加工学	2	必	高家教必 1級衣管士必 2級衣管士必
	染色加工学実験	1	必	1級衣管士選 2級衣管士必
	染色堅ろう度試験法	1	選	1級衣管士必
	繊維加工学実験	1	選	1級衣管士選
	被服整理学	2	必	家教必 1級衣管士必 2級衣管士必
	被服整理学実験	1	必	家教必 1級衣管士必 2級衣管士必
	繊維製品の取り扱いに関する試験法	1	選	1級衣管士選
衣料用洗剤試験法	1	選	1級衣管士選	
服飾総合	基礎教育ゼミナール	2	必	
	ゼミナールⅠ	2	必	
	ゼミナールⅡ	2	必	
	キャリアガイダンス	2	必	
	テキスタイルアドバイザー実習	1	選	1級衣管士必
	ファッションビジネス英会話	2	選	
	卒業研究	4	選	1級衣管士必 学芸員必
教科関連科目	栄養学概論	2	選	家教必
	食品学概論	2	選	家教必
	調理学実習	2	選	家教必
	住居学概論	2	選	家教必
	保育学概論	2	選	家教必
	家庭工学	1	選	高家教必
	家庭工学実習	1	選	高家教必
学芸員関連科目	生涯学習概論	2	選	学芸員必
	博物館概論	2	選	学芸員必
	博物館経営論	2	選	学芸員必
	博物館資料論	2	選	学芸員必
	博物館資料保存論	2	選	学芸員必
	博物館展示論	2	選	学芸員必
	博物館情報・メディア論	2	選	学芸員必
	博物館教育論	2	選	学芸員必
	博物館実習	3	選	学芸員必

⑦ 環境教育学科

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて80単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
専門基礎科目	化学Ⅰ	2	必	理教必 毒劇必 公害必
	生物学Ⅰ	2	必	理教必
	生物学Ⅱ	2	必	理教必
	情報化学演習	1	必	情教必 毒劇必 公害必
	環境基礎実験	1	必	理教必 毒劇必
	環境物理学	2	選	理教必
	環境地学	2	選	理教必
	化学Ⅱ	2	必	理教必 毒劇必
	生態学	2	必	
	生物資源利用学	2	必	
	環境生物実験	1	必	
	環境化学実験	1	必	毒劇必
	物理化学	2	選	高理教必 毒劇必
専門応用科目	生活環境論	2	必	毒劇必 公害必
	生化学	2	必	理教必 毒劇必 食衛監必
	環境分析入門	2	必	理教必 毒劇必 公害必
	食環境論	2	選	食衛監必
	情報科学概論	2	選	情教必
	機器分析Ⅰ	2	必	毒劇必 公害必
	環境応用実験	1	必	
	バイオマス利用学	2	選	毒劇必 食衛監必
	生物多様性学	2	選	
	栄養と健康	2	選	食衛監必
	環境微生物学	2	必	食衛監必
	情報生化学演習	1	必	情教必 毒劇必
	フィールドワークⅠ	2	必	
	環境衛生学実験Ⅰ	1	必	
	環境衛生学実験Ⅱ	1	必	
	生活環境学実験Ⅰ	1	必	
	生活環境学実験Ⅱ	1	必	
	環境物理学演習	2	必	情教必 公害必
	環境物理学実験	1	必	理教必 公害必
	生物工学実験Ⅰ	1	必	理教必
	生物工学実験Ⅱ	1	必	理教必
	生体機能学実験Ⅰ	1	必	理教必 毒劇必 公害必
	生体機能学実験Ⅱ	1	必	理教必 毒劇必 公害必
	環境分析実験Ⅰ	1	必	毒劇必 公害必
	環境分析実験Ⅱ	1	必	毒劇必 公害必
	生態工学実験Ⅰ	1	必	
	生態工学実験Ⅱ	1	必	
応用生態学実験Ⅰ	1	必		
応用生態学実験Ⅱ	1	必		

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
専門応用科目	データ解析演習	2	選	情教必
	データネットワーク演習	2	選	情教必
	環境デザイン数学	2	選	情教必
	細胞生物学	2	選	
	機器分析Ⅱ	2	選	毒劇必
	薬品化学	2	選	毒劇必 公害必 食衛監必
	バイオインフォマティクス	2	選	情教必 食衛監必
	生体機能化学	2	選	理教必 毒劇必 食衛監必
	食品衛生学概論	2	選	食衛監必
	生態利用学	2	選	食衛監必
	生態情報学	2	選	情教必 食衛監必
	都市資源利用学	2	選	食衛監必
	化粧品科学	2	選	毒劇必
	環境医学	2	選	毒劇必 食衛監必
	プログラミング演習	2	選	情教必
	フィールドワークⅡ	2	選	環プラ必
	環境情報倫理	2	選	情教必 公害必 環プラ必
	環境情報社会と職業	2	選	情教必 公害必 環プラ必
	環境情報システム演習	2	選	情教必 公害必 環プラ必
	基本教育科目	地質土壌学	2	選
教育メディア演習		2	選	情教必
地学応用実験		2	選	理教必
基本ゼミ		2	必	
メディア表現演習		2	必	情教必
セミナーⅠ		2	必	
セミナーⅡ		2	必	
セミナーⅢ		2	必	
環境系総合演習	2	必		
卒業研究	4	必		
キャリアサポート	2	選		

⑧ 造形表現学科

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて80単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
美術関係基礎科目	西洋美術史	4	選	美教必 学芸員必
	日本・東洋美術史	4	選	美教必 学芸員必
	現代美術論	2	選	学芸員必
	美術と環境	2	選	美教必 学芸員必
	美術の英語A	1	選	
	美術の英語B	1	選	
	色彩学	2	必	美教必 学芸員必
	カラーシミュレーション	1	必	
	マーケティング論	2	選	
	図学	2	必	美教必
	基礎造形	2	必	美教必
	デッサンⅠ	2	必	美教必
	デッサンⅡ	2	選	
	絵画Ⅰ	4	選	美教必
	彫塑	2	選	美教必
	素材と表現	4	選	
	実習基礎A (映像・デザイン)	4	必	美教必
	実習基礎B (空間・工芸)	4	必	中美教必
	グラフィックデザイン概論	1	選	
	デジタルデザイン概論	1	選	
イラストレーション	2	選		
グラフィック関連科目	グラフィックデザイン基礎	2	選	
	グラフィックデザインⅠ	2	選	
	グラフィックデザインⅡ	2	選	
	グラフィックデザインⅢ	2	選	
デジタルデザイン関連科目	デジタルデザイン基礎	2	選	
	デジタルデザインⅠ	2	選	
	デジタルデザインⅡ (web)	2	選	
	デジタルデザインⅢ (フラッシュアニメ)	2	選	
映像表現関連科目	映像表現基礎	2	選	
	映像表現A (写真メディア)	2	選	
	映像表現B (ビデオメディア)	2	選	
	映像表現C (アニメーション)	2	選	
住空間関連科目	住環境デザインⅠ	2	選	
	住環境デザインⅡ	2	選	
	住環境デザインⅢ	2	選	
	住環境デザインⅣ	2	選	
	インテリアデザイン基礎	2	選	
	インテリアデザインⅠ	2	選	
	インテリアデザインⅡ	2	選	

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
関連科目 住空間	インテリアプロダクト	2	選	
	インテリア文化論	2	選	
	インテリア技術論	2	選	
	インテリアCAD I	2	選	
	インテリアCAD II	2	選	
絵画関連科目	絵画Ⅱ	2	選	
	絵画Ⅲ	2	選	
	日本画Ⅰ	2	選	
	日本画Ⅱ	2	選	
	版画Ⅰ	2	選	
	版画Ⅱ	2	選	
工芸関連科目	染色Ⅰ	4	選	
	染色Ⅱ	2	選	
	織物Ⅰ	4	選	
	織物Ⅱ	2	選	
	金工・ジュエリーⅠ	4	選	
	金工・ジュエリーⅡ	4	選	
	陶芸Ⅰ	4	選	
	陶芸Ⅱ	4	選	
アート関連科目 テキスタイル	テキスタイルアート（染）	2	選	
	テキスタイルアート（織）	2	選	
	ファッション表現Ⅰ	2	選	
	ファッション表現Ⅱ	2	選	
	コンピュータファッションプリント	2	選	
	ファッションプロダクト	2	選	
総合表現科目	美術研究A	2	選	学芸員必
	美術研究B	2	選	
	総合表現	1	選	
	美術研修	2	選	
	卒業制作・論文ゼミナール	2	必	
	卒業制作・論文	4	必	
学芸員関連科目	生涯学習概論	2	選	学芸員必
	博物館概論	2	選	学芸員必
	博物館経営論	2	選	学芸員必
	博物館資料論	2	選	学芸員必
	博物館資料保存論	2	選	学芸員必
	博物館展示論	2	選	学芸員必
	博物館情報・メディア論	2	選	学芸員必
	博物館教育論	2	選	学芸員必
	博物館実習	3	選	学芸員必

2. 人文学部

① 英語コミュニケーション学科

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて80単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考	
共通認定科目	基礎ゼミ	2	必		
	Basic Writing Skills	1	必		
	Basic Listening Skills	2	必		
	英文講読の基礎	2	必		
	現代英文講読 I	1	必		
	現代英文講読 II	1	選		
	ドイツ語会話の基礎	2	選	①	
	ドイツ語演習	2	選		
	フランス語会話の基礎	2	選		
	フランス語演習	2	選	②	①・②・③いずれかの組合せを 4単位選択必修
	中国語会話の基礎	2	選		
	中国語演習	2	選	③	
	ドイツ語会話 I	1	選		
	ドイツ語会話 II	1	選		
	ドイツ語総合演習 I	1	選		
	ドイツ語総合演習 II	1	選		
	フランス語会話 I	1	選		
	フランス語会話 II	1	選		
	フランス語総合演習 I	1	選		
	フランス語総合演習 II	1	選		
	中国語会話 I	1	選		
	中国語会話 II	1	選		
中国語総合演習 I	1	選			
中国語総合演習 II	1	選			
両ゾーン共通専門科目	Intensive English A I	2	必		
	Intensive English A II	2	必		
	Intensive English B I	2	必		
	Intensive English B II	2	必		
	Listening Skills & TOEIC I	1	必		
	Listening Skills & TOEIC II	1	選		
	Advanced Listening Skills I	1	選	英教必	
	Advanced Listening Skills II	1	選	英教必	
	Advanced Intensive English A I	2	必	英教必	
	Advanced Intensive English A II	2	必	英教必	
	Advanced Intensive English B I	2	必	高英教必	
	Advanced Intensive English B II	2	必		
	Rapid Reading I	1	選		
	Rapid Reading II	1	選		
	Academic Presentation Skills I	1	選	英教必	
	Academic Presentation Skills II	1	選	英教必	

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考	
両ゾーン 共通専門科目	Speech & Communication I	1	選	この中から 2 単位選択必修	
	Speech & Communication II	1	選		
	Academic Reading Skills I	1	選		
	Academic Reading Skills II	1	選		
	Academic Writing Skills I	1	選		
	Academic Writing Skills II	1	選		
	英米小説講読 I	1	必		
	英米小説講読 II	1	必	高英教必	
	英米小説講読 III	1	必	高英教必	
	英米小説講読 IV	1	選		
	英米の歴史 II	2	選		
	イギリス文学史 I	2	選	英教必	①
	イギリス文学史 II	2	選	英教必	
	アメリカ文学史 I	2	選	英教必	②
	アメリカ文学史 II	2	選	英教必	
	英文法	4	必	英教必	①・②のどちらかの組合せを 4 単位選択必修
	英語音声学	4	必	英教必	
	英語学概論 I	2	選	英教必	
	英語学概論 II	2	選	英教必	
	現代英文講読 III	1	選		
	現代英文講読 IV	1	選		
	英検／TOEIC演習 I	1	選		
	英検／TOEIC演習 II	1	選		
	秘書実務 I	2	選		
	秘書実務 II	2	選		
	プリゼミ	2	選		
	ゼミ	4	選		
	卒業論文	6	選		
	留学・英語圏文化概論	2	選		
	語学研修 I	2	選		
	語学研修 II	4	選		
	語学研修 III	4	選		
語学研修 IV	14	選			
語学研修 V	14	選			
語学研修 VI	30	選			
語学 文学ゾーン 専門科目	英語史 I	2	必		
	英語史 II	2	必		
	英語学研究 I	2	選		
	英語学研究 II	2	選		
	英語学演習	2	選		
	応用言語学	4	選		

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考	
語学文学ゾーン専門科目	語法研究Ⅰ	2	選		
	語法研究Ⅱ	2	選		
	英詩研究Ⅰ	2	選		
	英詩研究Ⅱ	2	選		
	Paragraph Writing	1	選	高英教必	
	Essay Writing	1	選	高英教必	
	Language & Culture Ⅰ	2	選		
	Language & Culture Ⅱ	2	選		
	英文学研究Ⅰ	2	選		
	英文学研究Ⅱ	2	選		
	シェイクスピア研究Ⅰ	2	選		
	シェイクスピア研究Ⅱ	2	選		
	イギリス文学演習Ⅰ	1	選	①	①・②どちらかの組合せを 4単位英教選択必修
	イギリス文学演習Ⅱ	1	選		
	アメリカ文学演習Ⅰ	1	選	②	
	アメリカ文学演習Ⅱ	1	選		
	現代英米文学作品研究Ⅰ	2	選		
	現代英米文学作品研究Ⅱ	2	選		
	英国文化論Ⅰ	2	選	①	①・②どちらかの組合せを 4単位英教選択必修
	英国文化論Ⅱ	2	選		
	米国文化論Ⅰ	2	選	②	
	米国文化論Ⅱ	2	選		
	英語児童文学Ⅰ	2	選		
	英語児童文学Ⅱ	2	選		
	児童英語活動論Ⅰ	2	選		
	児童英語活動論Ⅱ	2	選		
	児童英語教育ワークショップⅠ	2	選		
	児童英語教育ワークショップⅡ	2	選		
	ドイツ語上級Ⅰ	1	選		
	ドイツ語上級Ⅱ	1	選		
	フランス語上級Ⅰ	1	選		
	フランス語上級Ⅱ	1	選		
中国語上級Ⅰ	1	選			
中国語上級Ⅱ	1	選			
コミュニケーション専門科目	旅行行政演習Ⅰ	1	選		
	旅行行政演習Ⅱ	1	選		
	観光事業演習Ⅰ	1	選		
	観光事業演習Ⅱ	1	選		
	国内観光概論	2	選		
	海外観光概論	2	選		

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
コミュニケーション シ ョ ン ゾ ー ン 専 門 科 目	観光英語Ⅰ	1	選	
	観光英語Ⅱ	1	選	
	情報概論	2	選	
	プログラミング演習	2	選	
	応用プログラミング	2	選	
	データベース演習	2	選	
	Webシステム演習	2	選	
	情報システム演習	2	選	
	Advanced Oral CommunicationⅠ	2	選	この中から2単位選択必修
	Advanced Oral CommunicationⅡ	2	選	
	オフィス・マネジメントⅠ	2	選	
	オフィス・マネジメントⅡ	2	選	
	ビジネス英語Ⅰ	2	選	
	ビジネス英語Ⅱ	2	選	
	国際秘書実務Ⅰ	1	選	
	国際秘書実務Ⅱ	1	選	
	英語通訳Ⅰ	1	選	
	英語通訳Ⅱ	1	選	
	時事英語演習Ⅰ	1	選	
	時事英語演習Ⅱ	1	選	
	異文化コミュニケーション論Ⅰ	2	選	
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	2	選	
	フライトサービス概論	2	選	
	国際航空業概論	2	選	
	航空コミュニケーション演習	2	選	
	航空接遇演習	2	選	

② 心理カウンセリング学科

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて80単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
心理 教養 科目	発達心理学	2	必	公心師必 認定心選
	教育・学校心理学	2	選	公心師必 認定心選
	臨床心理学概論	2	必	公心師必 認定心選
	カウンセリング論	2	必	認定心選
	人体の構造と機能及び疾病	2	選	公心師必
	パソコン応用	2	選	
専 門 科 目	心理学研究法基礎	2	必	認定心選
	心理学研究法	2	選	公心師必 認定心選
	心理学統計法	2	必	公心師必 認定心選
	精神疾患とその治療	2	選	公心師必 認定心選
	精神分析学	2	選	認定心選
	行動分析学	2	選	認定心選
	心身医学	2	選	認定心選
	公認心理師の職責	2	選	公心師必
	関係行政論	2	選	公心師必
	社会・集団・家族心理学	2	選	公心師必 認定心選
	感情・人格心理学	2	選	公心師必 認定心選
	知覚・認知心理学	2	選	公心師必 認定心選
	学習・言語心理学	2	選	公心師必 認定心選
	神経・生理心理学	2	選	公心師必 認定心選
	障害者・障害児心理学	2	選	公心師必 認定心選
	産業・組織心理学	2	選	公心師必 認定心選
	司法・犯罪心理学	2	選	公心師必 認定心選
	福祉心理学	2	選	公心師必 認定心選
	心理学的支援法	2	選	公心師必 認定心選
	心理的アセスメント	2	選	公心師必 認定心選
	被害者支援心理学	2	選	認定心選
	コミュニティ心理学	2	選	認定心選
	リエゾン心理学	2	選	認定心選
	心理演習	2	選	公心師必 認定心選
	芸術療法	2	選	認定心選
	家族療法	2	選	認定心選
	遊戯療法	2	選	認定心選
	認知行動療法	2	選	認定心選
	心理調査計画法	2	選	認定心選
	キャプション	2	選	
臨床心理ケース・スタディ演習	2	選	認定心選	
ゼミナールⅠ	4	必		
ゼミナールⅡ	2	必		

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
実 習 科 目	心理学実験基礎	2	必	認定心選
	心理学実験	2	選	公心師必 認定心選
	心理実習	3	選	公心師必 認定心選
	臨床心理学実習	3	選	認定心選
	カウンセリング実習	1	必	認定心選
	心理アセスメント実習	1	選	認定心選
	グループアプローチ実習Ⅰ	1	必	認定心選
	グループアプローチ実習Ⅱ	1	選	認定心選
	フィールド実習	1	選	
	卒業論文	4	選	認定心選
養 護 に 関 す る 科 目	解剖生理学	2	選	養教必
	養護概論	2	選	養教必
	健康相談活動の理論及び方法	2	選	養教必
	看護概論	2	選	養教必
	微生物学（免疫学を含む）	2	選	養教必
	看護技術Ⅰ	2	選	養教必
	看護技術Ⅱ	2	選	養教必
	栄養学（食品学を含む）	2	選	養教必
	衛生学・公衆衛生学 （予防医学を含む）	4	選	養教必
	学校保健	2	選	養教必
	救急処置実習	2	選	養教必
	精神保健	2	選	養教必 認定心選
	看護臨床実習	2	選	養教必
	小児疾病学	1	選	養教必
健康相談演習（保健指導を含む）	2	選		

③ 教育福祉学科

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて80単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
教養科目	家庭教育支援論	2	選	社教主選
	生活と福祉	2	必	
	パソコン応用	2	選	
共通専門科目	社会教育演習	4	選	社教主選
	社会福祉演習	5	選	4単位以上 社福士必
	精神保健福祉援助演習（専門）	4	選	選択必修 精保必
	心理演習	2	選	公心師必 認定心必
	心理演習Ⅱ	2	選	認定心必
	卒業論文	6	選	認定心選
	教育演習	2	選	
社会教育科目	生涯学習概論	2	選	社教必 公教必 社教主必 学芸員必 図書必
	教育学総論	4	選	社教主選
	社会教育概論	2	選	社教必 公教必 社教主必
	教育学研究法	2	必	社教主選
	社会調査	3	選	社教主選 社福士必
	社会教育計画	4	選	社教主必
	社会教育指導者論	2	選	社教主選
	社会教育施設論	2	選	社教主選
	図書館概論	2	選	社教主選 図書必
	博物館概論	2	選	社教主選 学芸員必
	社会教育実習	4	選	社教主選
	環境教育論	2	選	公教必 社教主選
	人間関係論	2	選	公教必 社教主選 認定心選
	企業内教育	2	選	社教主選
NPO運営論	2	選	社教主選	
社会福祉科目	社会福祉概論	4	選	社教必 公教必 社福主選 社福士必 精保必
	児童福祉論	4	選	社福主選 社福士必
	障害者福祉論	4	選	社福士必 精保必
	老人福祉論	4	選	社福主選 社福士必
	精神疾患とその治療	2	選	精保必 公心師必 認定心選
	人体の構造と機能及び疾病	2	選	社福主選 社福士選 精保選 公心師必
	権利擁護と成年後見制度	2	選	社福士必 精保必
	地域福祉論	2	選	社福主選 社福士必 精保必
	福祉行財政と福祉計画	2	選	社福士必 精保必
	介護概論	2	選	社福主選 社福士必
	公的扶助論	2	選	社福主選 社福士必 精保必
	社会保障論	2	選	社福主選 社福士必 精保必
	医療ソーシャルワーク論	2	選	社福士必 精保必
	福祉経済論	2	選	社福士必
社会福祉援助技術論Ⅰ	2	選	社福士必 精保必	

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
社会福祉科目	社会福祉援助技術論Ⅱ	2	選	社福士必
	社会福祉援助技術現場実習	6	選	社福士必
	社会福祉援助技術現場実習指導	3	選	社福士必
	精神保健福祉論	4	選	精保必
	精神保健学	4	選	精保必 認定心選
	精神障害者の生活支援システム	2	選	精保必
	精神保健福祉援助技術総論	2	選	精保必
	精神保健福祉援助技術各論	4	選	精保必
	精神科リハビリテーション学	2	選	精保必
	精神保健福祉援助演習（基礎）	2	選	精保必
	精神保健福祉援助実習	7	選	精保必
	精神保健福祉援助実習指導	3	選	精保必
	ケアマネジメント論	2	選	
心理教育科目	心理学研究法	2	選	公心師必 認定心選
	人格心理学（感情・人格心理学）	2	選	公教必 公心師必 認定心選
	発達心理学	2	選	社教主選 公心師必 認定心選
	学習・言語心理学	2	選	公心師必 認定心選
	社会・集団・家族心理学	2	選	公心師必 認定心選
	司法・犯罪心理学	2	選	公心師必 認定心選
	知覚・認知心理学	2	選	公心師必 認定心選
	心理実習	3	選	公心師必
	心理的アセスメント	2	選	公心師必 認定心選
	心理学実験	2	選	公心師必 認定心必
	心理学統計法	2	選	公心師必 認定心選
	心理学的支援法	2	選	公心師必 認定心選
	臨床心理学概論	2	選	公心師必 認定心選
	福祉心理学	2	選	公心師必 認定心選
	障害者・障害児心理学	2	選	公心師必 認定心選
	教育・学校心理学	2	選	公心師必 認定心選
	産業・組織心理学	2	選	公心師必 認定心選
	神経・生理心理学	2	選	公心師必 認定心選
	公認心理師の職責	2	選	公心師必
関係行政論	2	選	公心師必	
教科関連科目	外国史	2	選	社教必
	法律学	2	選	社教必 公教必
	政治学	2	選	社教必 公教必
	社会学	2	選	社教必 公教必 社福士選 精保選
	倫理学	2	選	社教必 公教必
	宗教学	2	選	社教必 公教必
	地理学	4	選	社教必
	文化人類学	2	選	社教必 公教必

Ⅲ. 教職等に関する科目

1. 初等教育（家政学部児童学科）

区 分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
教職の意義等に関する科目	教職基礎論	2	選	幼教必 保育士必
教育の基礎理論に関する科目	教育概論Ⅰ	2	選	幼教必 保育士必（全学共通教育科目として開設）
	教育概論Ⅱ	2	選	幼教選 保育士選（全学共通教育科目として開設）
	学校教育心理学	2	選	幼教必 保育士必（全学共通教育科目として開設）
	教育制度論	2	選	幼教必（全学共通教育科目として開設）
教育課程及び指導法に関する科目	保育課程総論	2	選	幼教必 保育士必（専門教育科目として開設）
	保育方法論（情報機器の操作を含む）	2	選	幼教必（専門教育科目として開設）
	保育指導論	2	選	幼教必 保育士選（専門教育科目として開設）
	保育内容総論	2	選	幼教必 保育士必（専門教育科目として開設）
	保育内容の研究（健康）	1	選	幼教必（専門教育科目として開設）
	保育内容の研究（人間関係）	1	選	幼教必（専門教育科目として開設）
	保育内容の研究（環境）	1	選	幼教必（専門教育科目として開設）
	保育内容の研究（ことば）	1	選	幼教必（専門教育科目として開設）
	保育内容の研究（表現Ⅰ）	2	選	幼教必（専門教育科目として開設）
	保育内容の研究（表現Ⅱ）	2	選	幼教必（専門教育科目として開設）
	保育内容演習（健康）	1	選	幼教選 保育士必（専門教育科目として開設）
	保育内容演習（人間関係）	1	選	幼教選 保育士必（専門教育科目として開設）
	保育内容演習（環境）	1	選	幼教選 保育士必（専門教育科目として開設）
	保育内容演習（ことば）	1	選	幼教選 保育士必（専門教育科目として開設）
保育内容演習（表現）	2	選	幼教必 保育士必（専門教育科目として開設）	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解と援助	2	選	幼教必 保育士選（専門教育科目として開設）
教育実習	教育実習（幼）の研究	1	選	幼教必
	教育実習（幼）A	4	選	幼教必
	教育実習（幼）B	2	選	幼教選
教職実践演習	教職実践演習（幼）	2	選	幼教必

2. 中等教育（家政学部[児童学科・児童教育学科を除く]・人文学部[心理カウンセリング学科を除く]）

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
教職の意義等に関する科目	教職基礎論	2	選	教必
教育の基礎理論に関する科目	教育概論Ⅰ	2	選	教必 (全学共通教育科目として開設)
	教育概論Ⅱ	2	選	教必 (全学共通教育科目として開設)
	学校教育心理学	2	選	教必 (全学共通教育科目として開設)
	教育制度論	2	選	教必 (全学共通教育科目として開設)
教育課程及び指導法に関する科目	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	選	社教必 公教必
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	選	社教必 公教必
	社会科教育法Ⅰ	2	選	社教必 公教選
	社会科教育法Ⅱ	2	選	社教必 公教選
	理科教育法Ⅰ	2	選	理教必
	理科教育法Ⅱ	2	選	理教必
	理科教育法Ⅲ	2	選	理教必
	理科教育法Ⅳ	2	選	中理教必 高理教選
	美術科教育法Ⅰ	2	選	美教必
	美術科教育法Ⅱ	2	選	美教必
	美術科教育法Ⅲ	2	選	美教必
	美術科教育法Ⅳ	2	選	中美教必 高美教選
	保健科教育法Ⅰ	2	選	保教必
	保健科教育法Ⅱ	2	選	保教必
	保健科教育法Ⅲ	2	選	保教必
	保健科教育法Ⅳ	2	選	中保教必 高保教選
	家庭科教育法Ⅰ	2	選	家教必
	家庭科教育法Ⅱ	2	選	家教必
	家庭科教育法Ⅲ	2	選	家教必
	家庭科教育法Ⅳ	2	選	中家教必 高家教選
	情報科教育法Ⅰ	2	選	情教必
	情報科教育法Ⅱ	2	選	情教必
	英語科教育法Ⅰ	2	選	英教必
	英語科教育法Ⅱ	2	選	英教必
	英語科教育法Ⅲ	2	選	英教必
	英語科教育法Ⅳ	2	選	中英教必 高英教選
	道徳教育の研究	2	選	中教必
	特別活動の研究	2	選	教必
	教育方法の研究	2	選	教必
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導論	2	選
スクールカウンセリング論		2	選	教必
教育実習	教育実習A	4	選	中教必
	教育実習B	2	選	高教必
	教育実習の研究	1	選	教必
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	選	教必
	介護等体験の研究	1	選	中教必 (教職に関する科目に準ずる科目)

3. 栄養教諭（家政学部栄養学科栄養学専攻・管理栄養士専攻）

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
教職の意義等に関する科目	教職基礎論	2	選	栄教必
教育の基礎理論に関する科目	教育概論Ⅰ	2	選	栄教必（全学共通教育科目として開設）
	教育概論Ⅱ	2	選	栄教必（全学共通教育科目として開設）
	学校教育心理学	2	選	栄教必（全学共通教育科目として開設）
	教育制度論	2	選	栄教必（全学共通教育科目として開設）
教育課程に関する科目	教育内容・教育方法	1	選	栄教必
	道徳教育の研究	2	選	栄教必
	特別活動の研究	2	選	栄教必
生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導論（栄養教諭）	2	選	栄教必
	スクールカウンセリング論	2	選	栄教必
栄養教育実習	栄養教諭教育実習の研究	1	選	栄教必
	栄養教諭教育実習	1	選	栄教必
教職実践演習	教職実践演習（栄養）	2	選	栄教必

4. 養護教諭（人文学部心理カウンセリング学科）

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
教職の意義等に関する科目	教職基礎論	2	選	養教必
教育の基礎理論に関する科目	教育概論Ⅰ	2	選	養教必（全学共通教育科目として開設）
	教育概論Ⅱ	2	選	養教必（全学共通教育科目として開設）
	学校教育心理学	2	選	養教必（全学共通教育科目として開設） 認定心選
	教育制度論	2	選	養教必（全学共通教育科目として開設）
教育課程に関する科目	道徳教育の研究	2	選	養教必
	特別活動の研究	2	選	養教必
	教育方法の研究	2	選	養教必
生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導論	2	選	養教必
	スクールカウンセリング論	2	選	養教必
養護実習	養護実習の研究	1	選	養教必
	養護実習Ⅰ	1	選	養教必
	養護実習Ⅱ	3	選	養教必
教職実践演習	教職実践演習（養護）	2	選	養教必

IV. 図書館司書に関する科目

(家政学部[児童学科児童学専攻、栄養学科栄養学専攻]・人文学部)

授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
生涯学習概論	2	選	図書必 (教育福祉学科の専門教育科目として開設)
図書館概論	2	選	図書必 (教育福祉学科の専門教育科目として開設)
図書館情報技術論	2	選	図書必
図書館制度・経営論	2	選	図書必
図書館サービス概論	2	選	図書必
情報サービス論	2	選	図書必
児童サービス論	2	選	図書必
情報サービス演習	2	選	図書必
図書館情報資源概論	2	選	図書必
情報資源組織論	2	選	図書必
情報資源組織演習	2	選	図書必
図書館基礎特論	1	選	図書必
コミュニケーション論	2	選	図書必 (全学共通教育科目として開設)

V. 学芸員に関する科目

(家政学部[栄養学科栄養学専攻]・人文学部[教育福祉学科])

授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
生涯学習概論	2	選	学芸員必 (教育福祉学科の専門教育科目として開設)
博物館概論	2	選	学芸員必 (教育福祉学科の専門教育科目として開設)
博物館経営論	2	選	学芸員必
博物館資料論	2	選	学芸員必
博物館資料保存論	2	選	学芸員必
博物館展示論	2	選	学芸員必
博物館教育論	2	選	学芸員必
博物館情報・メディア論	2	選	学芸員必
博物館実習	3	選	学芸員必

VI. 基礎教養科目（健康科学部）

1. 看護学科の学生は、必修科目6単位、看護師必科目10単位、各区分の選択科目から各2単位以上、合わせて24単位以上修得する。
2. リハビリテーション学科の学生は、必修科目6単位、選択科目から14単位以上、合わせて20単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
人間と社会・文化	生命倫理	2	必	
	日本国憲法	2	選	
	多文化理解	1	選	看護師必
	家族社会学	1	選	看護師必
	人間関係論	1	選	
	医療経済学	1	選	
	コミュニケーション論	1	選	看護師必
	国際関係論	1	選	
	心理学	1	選	
	発達心理学	1	選	看護師必
	体育（講義）	1	選	
	体育（実技）	1	選	
人間と自然	生命科学	2	選	看護師必
	神経科学	1	選	
	環境科学	1	選	
	遺伝学*	1	選	
	物理学概論	1	選	
	化学概論	1	選	
	生化学	1	選	看護師必
栄養学	1	選	看護師必	
人間と情報	基礎統計・情報処理	2	必	
	看護情報学*	1	選	
	コンピューターと医療	1	選	
	ヒューマンロボティクス	1	選	
日本語表現	2	選	看護師必	
人間と言語	英語A	1	必	
	英語B	1	必	
	医療英会話	1	選	
	看護・医学英語	1	選	
	中国語	1	選	

看護学科の学生は看護師必以外の選択科目から2単位選択必修

看護学科の学生は看護師必以外の選択科目から2単位選択必修

* 遺伝学は看護学科のみ開設

看護学科の学生は看護師必以外の選択科目から2単位選択必修

* 看護情報学は看護学科のみ開設

看護学科の学生は選択科目から2単位選択必修

VII. 専門教育科目（看護学科）

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて100単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考		
専門教育科目	身体 の 構 造	形態機能学	2	必	看護師必	
		リハビリテーション概論	1	選	看護師選	
		感染免疫学	2	必	看護師必	
		薬理学	2	必	看護師必	
		疾病治療論Ⅰ	2	必	看護師必	
		疾病治療論Ⅱ	2	必	看護師必	
		疾病治療論Ⅲ	2	必	看護師必	
		疾病治療論Ⅳ	2	必	看護師必	
		精神 の 構 造	生涯発達論	1	必	看護師必
			精神発達論	1	必	看護師必
			疾病治療論Ⅴ	2	必	看護師必
			臨床心理学	1	選	看護師選
			カウンセリング	1	選	看護師選
		社会 の 構 造	公衆衛生学	1	必	看護師必 保健師必
	関係法規		1	必	看護師必	
	疫学		2	選	看護師選 保健師必	
	保健統計		2	選	看護師選 保健師必	
	疾病治療論Ⅵ		2	必	看護師必	
	地域保健		2	選	看護師選 保健師必	
	産業保健		1	選	看護師選 保健師必	
	学校保健		1	選	看護師選 保健師必	
	健康教育		2	必	看護師必 保健師必	
	社会保障概論		1	必	看護師必 保健師必	
	保健医療福祉行政論Ⅰ		1	必	看護師必 保健師必	
	保健医療福祉行政論Ⅱ		1	選	看護師選 保健師必	
	ボランティア活動論		1	必	看護師必 保健師必	
	専門 科 目		看護 の 基 礎	看護学概論	2	必
		看護倫理		1	必	看護師必
		看護研究Ⅰ		1	必	看護師必
		看護援助論		1	必	看護師必
		看護の基本技術Ⅰ		2	必	看護師必
		看護の基本技術Ⅱ		2	必	看護師必
		看護の基本技術Ⅲ		2	必	看護師必
ヘルスアセスメントの技術		1		必	看護師必	
看護過程の技術		1		必	看護師必	
基礎看護の実践Ⅰ		1		必	看護師必	
基礎看護の実践Ⅱ		2		必	看護師必	
母性 看 護 学		母性看護学概論	2	必	看護師必 助産師必	
		母性看護学方法論	2	必	看護師必 助産師必	
		母性看護の実践	2	必	看護師必	
小児 看 護 学	小児看護学概論	2	必	看護師必		
	小児看護学方法論	2	必	看護師必		
	小児看護の実践	2	必	看護師必		

区分		授 業 科 目	単位数	必選別	備 考	
専門教育科目	専門科目	成人看護学	成人看護学概論	2	必	看護師必
			成人看護方法論Ⅰ	2	必	看護師必
			成人看護方法論Ⅱ	2	必	看護師必
			成人看護の実践Ⅰ	3	必	看護師必
			成人看護の実践Ⅱ	3	必	看護師必
		老年看護学	老年看護学概論	2	必	看護師必
			老年看護方法論	2	必	看護師必
			老年看護の実践Ⅰ	1	必	看護師必
			老年看護の実践Ⅱ	3	必	看護師必
		在宅看護学	地域看護学概論	2	必	看護師必 保健師必 助産師必
			在宅看護学概論	2	必	看護師必
			在宅看護方法論	2	必	看護師必
			在宅看護の実践	2	必	看護師必
		精神看護学	ノーマライゼーション	2	必	看護師必
			精神看護学概論	2	必	看護師必
	精神看護方法論		2	必	看護師必	
	精神看護の実践		2	必	看護師必	
	看護の統合と実践	看護理論	1	選	看護師選	選択から 1単位 選択 必修
		看護管理	1	選	看護師選	
		看護教育	1	選	看護師選 助産師必	
		国際看護	1	必	看護師必	
		救急看護法	1	必	看護師必	
		災害看護Ⅰ	1	必	看護師必	
		災害看護Ⅱ	1	選	看護師選	
		看護研究Ⅱ	4	必	看護師必	
		統合実習	2	必	看護師必	
	保健師課程科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2	選	保健師必
			公衆衛生看護活動論Ⅰ	2	選	保健師必
			公衆衛生看護活動論Ⅱ	1	選	保健師必
			公衆衛生看護管理論	1	選	保健師必
			公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	選	保健師必
			公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	選	保健師必
	助産師課程科目	助産学	助産学概論	1	選	助産師必
			周産期医学	1	選	助産師必
			助産診断・技術学の基礎	1	選	助産師必
			助産診断・技術学Ⅰ	2	選	助産師必
			助産診断・技術学Ⅱ	2	選	助産師必
			助産診断・技術学Ⅲ	2	選	助産師必
			助産診断・技術学Ⅳ	1	選	助産師必
			助産管理	1	選	助産師必
			助産学実習Ⅰ	8	選	助産師必
			助産学実習Ⅱ	2	選	助産師必
助産学実習Ⅲ			1	選	助産師必	

Ⅷ. 専門教育科目（リハビリテーション学科作業療法学専攻）

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて106単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考		
専門教育科目	専門基礎科目 及び心身の発達 人体の構造と機能	人体の構造Ⅰ	2	必	作業必	
		人体の構造Ⅱ	2	必	作業必	
		人体の構造演習	1	必	作業必	
		生理学Ⅰ	2	必	作業必	
		生理学Ⅱ	2	必	作業必	
		生理学演習	1	必	作業必	
		運動学	2	必	作業必	
		運動学演習	1	必	作業必	
		人間発達学	1	選	作業選	
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の 促進	公衆衛生学	1	必	作業必
			病理学	1	必	作業必
			薬理学	1	必	作業必
			救急処置法	1	必	作業必
			神経内科学	2	必	作業必
			整形外科学	2	必	作業必
			小児科学	2	必	作業必
			精神医学	2	必	作業必
			臨床心理学	2	必	作業必
			加齢と生活障害	2	必	作業必
	摂食・嚥下機能学	2	必	作業必		
	看護学概論	1	選	作業選		
	ショーンの理念 リハビリテーションの 保健医療福祉と	社会福祉学概論	1	選	作業選	
		チーム医療と多職種連携論	1	必	作業必	
		関係法規	1	選	作業選	
		リハビリテーション概論	1	必	作業必	
		リハビリテーション医学	2	必	作業必	
	専門科目 作業療法学・理学療法 学共通科目 基礎作業 療法学 作業療法評価学 作業療法治療学	リスク管理学	1	選		
		研究法	1	必	作業必	
		卒業研究	4	必	作業必	
		義肢装具学	1	必	作業必	
		リハビリテーション工学	1	選		
		高次脳機能治療学	1	選		
		地域保健マネジメント学	1	必	作業必	
作業科学入門		1	必	作業必		
作業科学実習		1	必	作業必		
作業療法学概論		1	必	作業必		
作業評価学総論		1	必	作業必		
身体機能評価学		1	必	作業必		
身体機能評価学演習		1	必	作業必		
精神機能評価学		1	必	作業必		
精神機能評価学演習		1	必	作業必		
発達機能評価学		1	必	作業必		
認知機能評価学		1	必	作業必		
生活と作業療法学	2	必	作業必			
生活と作業療法学演習	1	必	作業必			
身体機能作業療法学	2	必	作業必			
身体機能作業療法学各論	1	必	作業必			
身体機能作業療法学演習	1	必	作業必			
精神機能作業療法学	2	必	作業必			
精神機能作業療法学各論	1	必	作業必			
精神機能作業療法学演習	1	必	作業必			
老年期作業療法学	2	必	作業必			
老年期作業療法学演習	1	必	作業必			
発達と作業療法学	2	必	作業必			
発達と作業療法学演習	1	必	作業必			
認知機能と作業療法	2	必	作業必			
ハンドリハビリテーション	1	選				
作業療法管理学	2	必	作業必			
作業療法セミナー	2	必	作業必			

選択
から
3単位
選択
必修

区分		授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
専門 教育 科目	地域 作業 療法 学	特別支援教育と作業療法	1	必	作業必
		地域作業療法学	2	必	作業必
		地域作業療法学演習	1	必	作業必
		就労支援と作業療法	2	必	作業必
	臨床 実習	地域見学実習	1	必	作業必
		コミュニケーション実習	1	必	作業必
		評価学実習	4	必	作業必
		臨床実習 I	8	必	作業必
		臨床実習 II	8	必	作業必

IX. 専門教育科目（リハビリテーション学科理学療法学専攻）

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて106単位以上修得する。

区分	授業科目	単位数	必選別	備考		
専門基礎科目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造Ⅰ	2	必	理学必	
		人体の構造Ⅱ	2	必	理学必	
		人体の構造演習	1	必	理学必	
		生理学Ⅰ	2	必	理学必	
		生理学Ⅱ	2	必	理学必	
		生理学演習	1	必	理学必	
		運動学	2	必	理学必	
		運動学演習	1	必	理学必	
		人間発達学	1	選	理学選	
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	公衆衛生学	1	必	理学必
	病理学		1	必	理学必	
	薬理学		1	必	理学必	
	救急処置法		1	必	理学必	
	神経内科学		2	必	理学必	
	整形外科		2	必	理学必	
	小児科学		2	必	理学必	
	精神医学		2	必	理学必	
	臨床心理学		2	必	理学必	
	加齢と生活障害		2	必	理学必	
	保健医療福祉とシヨンの理念	摂食・嚥下機能学	2	必	理学必	
		看護学概論	1	選	理学選	
		社会福祉学概論	1	選	理学選	
		チーム医療と多職種連携論	1	必	理学必	
		関係法規	1	選	理学選	
	専門教育科目	作業療法学・理学療法学共通科目	リハビリテーション概論	1	必	理学必
			リハビリテーション医学	2	必	理学必
			リスク管理学	1	選	
			研究法	1	必	理学必
			卒業研究	4	必	理学必
基礎理学療法学		義肢装具学	1	必	理学必	
		リハビリテーション工学	1	選		
		高次脳機能治療学	1	選		
		地域保健マネジメント学	1	必	理学必	
		理学療法学概論	1	必	理学必	
理学療法評価学		理学療法学概論演習	1	必	理学必	
		理学療法学基礎理論	1	必	理学必	
		理学療法評価学Ⅰ	1	必	理学必	
		理学療法評価学Ⅱ	1	必	理学必	
		理学療法評価学演習Ⅰ	1	必	理学必	
理学療法治療学	理学療法評価学演習Ⅱ	1	必	理学必		
	臨床診断学	1	必	理学必		
	運動療法学総論	1	必	理学必		
	日常生活活動分析学	1	必	理学必		
	日常生活活動分析学演習	1	必	理学必		
	運動器理学療法学	2	必	理学必		
	運動器理学療法学演習	1	必	理学必		
	神経機能理学療法学	1	必	理学必		
	神経機能理学療法学演習	1	必	理学必		
	呼吸・循環器理学療法学	1	必	理学必		
	呼吸・循環器理学療法学演習	1	必	理学必		
	内部疾患と理学療法学	1	必	理学必		
	発達と理学療法学	1	必	理学必		
	発達と理学療法学演習	1	必	理学必		
	老年期理学療法学	2	必	理学必		
物理療法学	2	必	理学必			
物理療法学演習	1	必	理学必			
徒手理学療法学	1	必	理学必			
徒手理学療法学演習	1	必	理学必			
理学療法セミナーⅠ	2	必	理学必			
理学療法セミナーⅡ	4	必	理学必			

選択から3単位選択必修

区分		授 業 科 目	単位数	必選別	備 考
専門教育科目	専門科目	地域ボランティア活動論	1	必	理学必
		特別支援教育と理学療法	1	必	理学必
		地域理学療法学	2	必	理学必
		地域理学療法学演習	1	必	理学必
	臨床実習	地域見学実習	1	必	理学必
		地域保健実習	1	必	理学必
		評価学実習	4	必	理学必
		臨床実習Ⅰ	8	必	理学必
		臨床実習Ⅱ	8	必	理学必

X. 基礎教養科目（子ども学部）

1. 基礎教養科目は、必修科目8単位、各区分の*科目から各1科目4単位以上、区分「人間と健康」から4単位以上、合せて24単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考	
基礎教養科目	人間と社会・文化	生命倫理	2	必	
		日本国憲法	2	選	幼教必
		経済学	2	選	
		社会学	2	選	
		多文化理解	2	必	
		遊びとコミュニケーション*	1	選	
		子どもとソーシャルワーク	2	選	*のいずれか 1科目選択必修
		生活環境と人間*	1	選	
		体育（講義）	1	選	保育士必 幼教必
		体育（実技）	1	選	保育士必 幼教必
		保育の国際比較：ヨーロッパと日本	2	選	
		スタディ・ツアー <small>（海外研修：事前事後指導を含む）</small>	2	選	
		キャリアデザイン	2	選	保育士必
		人間と自然	生命科学入門	2	必
環境科学*	1		選	*のいずれか 1科目選択必修	
生化学*	1		選		
人間と情報	情報機器の操作	2	選	保育士必 幼教必	
	日本語表現*	2	選	*のいずれか 1科目選択必修	
	手話*	1	選		
人間と言語	英語A	1	必	保育士必 幼教必	
	英語B	1	必	保育士必 幼教必	
	ドイツ語*	1	選	*のいずれか 1科目選択必修	
	コリア語*	1	選		
人間と健康	人体の構造と機能	2	選		
	家族看護概論	2	選	いずれか2科目 選択必修	
	小児の感染症と免疫学	2	選		

XI. 専門教育科目（子ども支援学科）

○専門教育科目は必修科目・選択科目を合わせて90単位以上修得する。

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考	
専門教育科目	基礎理論科目	子ども学総論	2	必	
		子ども支援論	2	必	
		健康保育総論	2	必	保育士選
		特別支援教育概論	2	必	特支必
		保育原理	2	必	保育士必 社福主必
		子どもの理解と援助	2	必	幼教必 保育士選
		保育内容総論	2	必	幼教必 保育士必
		保育課程総論	2	必	幼教必 保育士必
		教職基礎論（保育者論）	2	必	幼教必 保育士必
		保育方法論	2	必	幼教必 保育士選
		保育指導論	2	選	保育士選
		教育概論	2	必	幼教必 保育士必 社福主必
		教育制度論	2	必	幼教必
		学校教育心理学	2	必	幼教必 保育士必
		保育心理学	1	必	幼教必 保育士必
		子どもの保健Ⅰ	4	必	保育士必
		子どもの食と栄養	2	選	保育士必
		子どもの保健Ⅱ	2	必	保育士必
		社会福祉概論	2	選	保育士必 社福主必
		児童家庭福祉	2	必	保育士必 社福主必
	家庭支援論	2	選	保育士必	
	社会的養護概論	2	選	保育士必	
	社会的養護内容演習	1	選	保育士必	
	相談援助	1	必	保育士必 社福主必	
	教育相談	1	必	幼教必	
	保育相談支援	1	選	保育士必	
	総合実践科目	子どもの音楽Ⅰ	2	必	幼教必 保育士必
		子どもの音楽Ⅱ	2	必	幼教必 保育士選
		子どもの音楽Ⅲ	2	選	幼教選
		子どもの音楽Ⅳ	2	選	幼教選
		子どもの造形Ⅰ	2	必	幼教必 保育士必
		子どもの造形Ⅱ	2	必	幼教必 保育士選
		子どもの体育	2	必	幼教必 保育士必
		保育内容（健康）	2	必	幼教必 保育士必
保育内容（人間関係）		2	必	幼教必 保育士必	
保育内容（環境）		2	必	幼教必 保育士必	
保育内容（言葉）		2	必	幼教必 保育士必	
保育内容（表現Ⅰ）		2	必	幼教必 保育士必	
保育内容（表現Ⅱ）		2	必	幼教必 保育士必	
食育実践演習		2	選	保育士選	
障害児保育演習	2	必	保育士必		
子どものことばと文化	1	必	幼教必 保育士必		
子どもの生活	1	必	幼教必		

区分	授 業 科 目	単位数	必選別	備 考		
専門教育科目	総合実践科目	乳児保育学内演習	2	選	保育士必	
		保育実習 I	4	選	保育士必	
		保育実習指導 I	2	選	保育士必	
		保育実習 II	2	選	保育士選	
		保育実習指導 II	1	選	保育士選	① ①又は② いずれか 選択必修
		保育実習 III	2	選	保育士選	
		保育実習指導 III	1	選	保育士選	② ①又は② いずれか 選択必修
		教育実習指導 (幼)	1	選	幼教必	
		教育実習 (幼)	4	選	幼教必	
		保育・教職実践演習	2	必	幼教必 保育士必	
	支援科目	知的障害児教育総論	2	選	特支必	
		肢体不自由児教育総論	1	選	特支必	
		病弱児教育総論	1	選	特支必	
		知的障害児の心理・生理・病理	2	選	特支必	
		知的障害児指導法	2	選	特支必	
		LD等教育総論	1	選	特支必	
		視覚障害児の心理・生理・病理	1	選	特支必	
		聴覚障害児の心理・生理・病理	1	選	特支必	
		視覚障害児教育論	1	選	特支必	
		聴覚障害児教育論	1	選	特支必	
		病弱児の心理・生理・病理	2	選	特支必	
		病弱児指導法	2	選	特支必	
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2	選	特支必	
		肢体不自由児指導法	2	選	特支必	
		特別支援教育実習 (事前事後指導を含む)	3	選	特支必	
		健康保育A (保育現場での子どもの病気)	2	選	保育士選	
		健康教育B (病児・病後児保育)	1	選		
		健康保育C (医療保育特論)	1	選		
		健康保育実習 (事前事後指導を含む)	2	選		
	総合研究	基礎ゼミナール	2	必		
ゼミナール		2	必			
卒業研究		4	必			